

アナログ・デジタル一般業務用無線システム

MOTOTRBO™ XiR™ M8260 / XiR™ M8268 車載型無線機 ディスプレイモデル

ユーザーガイド



目次

このユーザーガイドには、XiR シリーズデジタルモバイル無線機の使用に必要なすべての情報が記載されています。

重要な安全情報	v
製品の安全性と RF 暴露に関する要件の準拠	v
ソフトウェアバージョン	v
コンピュータソフトウェア著作権	vi
はじめに	1
このユーザーガイドの使用方法	1
ディーラー / システム管理者からの情報	1
無線機の電源を入れる	2
音量調整	2
無線機コントロールの特定	3
無線機コントロール	3
プログラム可能なボタン	4
指定可能な無線機機能	4
指定可能な設定 / ユーティリティ機能	5
プログラムされた機能のアクセス	6
プッシュ トーク (PTT) ボタン	6

一般アナログ / デジタルモードの切り替え	7
キャパシティプラス	7
ステータスインジケータの特定	8
ディスプレイアイコン	8
通話アイコン	9
送信済みアイテムアイコン	10
LED インジケータ	10
音声トーン	11
インジケータトーン	12
通話の着信と発信	12
サイト選択	12
ゾーン選択	13
無線チャンネル、加入者のエイリアスまたは ID、 もしくはグループのエイリアスまたは ID を 選択	13
無線通話の受信と応答	14
グループ通話の受信と応答	14
プライベート通話の受信と応答	15
一斉通話の受信	16
無線通話の発信	16
チャンネル選択ボタンからの発信	17
グループ通話発信	17
プライベート通話発信	17
一斉通話の発信	18

[ワンタッチアクセス]ボタンでグループまたはプライベート通話を発信	19
無線通話の停止	19
ダイレクトモード	20
チャンネルモニター	21
高度機能	22
無線機確認	22
無線機確認の送信	22
リモートモニター	24
リモートモニターの開始	24
リモートモニターの停止	25
スキャンリスト	25
スキャンリスト内のエントリの表示	26
スキャンリストの編集	26
スキャンリストへの新規エントリの追加	26
スキャンリストからのエントリの削除	27
スキャンリスト内のエントリの優先度の設定と編集	27
スキャン	28
スキャン開始と停止	28
スキャン中の送信への応答	29
迷惑チャンネルの削除	29
迷惑チャンネルの復元	29

連絡先設定	30
連絡先からのグループ通話発信	30
連絡先からのプライベート通話発信	31
通話インジケータ設定	32
プライベート通話用着信音のオン、オフの切り替え	32
テキストメッセージ用着信音のオン、オフの切り替え	32
テキスト付きテレメトリー状態用着信音のオン、オフの切り替え	33
着信音スタイルの割り当て	33
警告トーンの音量を上げる	34
通話ログ機能	34
最近の通話の表示	34
不在通話画面	35
通話リストからの通話の削除	35
ページング	36
ページングの受信と応答	36
連絡先リストからのページング発信	36
ワンタッチアクセスでページングをするボタン	37
緊急アラーム	37
緊急アラームの受信	38
緊急アラームへの応答	38

緊急アラームの送信	39	受信トレイのテレメトリースター	
通話及び緊急アラームの送信	39	タステキストメッセージの表示	49
ハンズフリー緊急アラームの送信	40	クイックテキストでの	
緊急モードの再開	41	テキストメッセージへの返信	49
緊急モードの終了	41	受信トレイのテキストメッセージの削除	50
テキストメッセージング機能	42	受信トレイの全テキストメッセージの削除	50
クイックテキストメッセージの送信	42	プライバシー	51
ワンタッチアクセスボタンでクイックテキストメッ		IP サイト接続	52
セージを送信	42	自動サイト検索の開始	53
下書きフォルダ内のテキストメッセージの管理	43	自動サイト検索の停止	53
保存したテキストメッセージの表示	43	手動サイト検索の開始	54
下書きフォルダからの保存されたテキストメッ		セキュリティ	55
セージの削除	43	無線機無効	55
送信失敗テキストメッセージの管理	44	無線機有効	56
テキストメッセージの再送信	44	ローンワーカー	57
テキストメッセージの転送	44	ユーティリティ	57
送信済みテキストメッセージの管理	45	スケルチレベルの設定	57
送信済みテキストメッセージの表示	45	パワーレベルの設定	58
送信済みテキストメッセージの送信	45	オプションボード機能のオンとオフの	
送信済みアイテムからの全送信済みテキストメッ		切り替え	58
セージの削除	47	音声起動送信 (VOX) 機能のオンとオフの	
テキストメッセージの受信	47	切り替え	58
テキストメッセージの表示	47	パブリックアドレスシステムのオンとオフの	
受信テキストメッセージの管理	48	切り替え	59
受信トレイのテキストメッセージの表示	48	外部 PA システムのオンとオフの切り替え	59

ディスプレイバックライトの制御	60	クイックテキストメッセージの編集	72
クラクション/ライトのオンとオフの切り替え	60	下書きフォルダへのアクセス	73
無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え	61	保存されたテキストメッセージの編集と送信	73
トーン警告ボリュームオフセットレベルの設定	61	送信失敗テキストメッセージの管理	74
通話許可トーンのオンとオフの切り替え	62	手動ダイヤルによるテキストメッセージの転送	74
LED インジケータのオンとオフの切り替え	62	テキストメッセージの編集	75
導入画面のオンとオフの切り替え	63	デュアルトーンマルチ周波数 (DTMF)	75
一般無線機情報へのアクセス	63	セキュリティ	76
無線機 ID の確認	63	手動ダイヤルによる無線の無効化	76
ファームウェアバージョンの確認	64	手動ダイヤルによる無線の有効化	76
コードプラグバージョンの確認	64	アクセサリ	77
キーパッドマイク機能	64	アンテナ	77
キーパッドの使用	65	音声	78
キーパッドトーンのオンとオフの切り替え	66	ケーブル	78
追加の高度機能	66	デスクトップアクセサリ	79
手動ダイヤルによる無線機確認の開始	66	マウンティングキット	79
手動ダイヤルによるリモートモニターの開始	67	リモートマウントアダプター	79
手動ダイヤルによるプライベート通話発信	68	スピーカ	80
エイリアス検索によるプライベート通話発信	68	その他アクセサリ	80
不在通話リストのエイリアスまたは ID の格納	69		
手動ダイヤルによる緊急通話発信	70		
テキストメッセージ	70		
テキストメッセージの作成と送信	70		
受信トレイのテキストメッセージへの返信	71		

重要な安全情報

製品の安全性と RF 暴露に関する要件の準拠



注意

本製品をご使用になる前に、無線機に同封されている製品の安全性と RF 暴露に関する冊子に記載されている安全な利用のための操作説明書をお読みください。

注意！

この無線機は、FCC RF エネルギー暴露要件を準拠した業務用の利用に限定されています。本製品をご使用になる前に、無線機（Motorola 出版物番号 6804112J96）に同梱されている製品の安全性と RF 暴露に関する冊子に記載されている RF エネルギー認識情報と操作説明をご一読いただき、RF エネルギー暴露制限を確実に順守してください。

Motorola 承認済みのアンテナとその他アクセサリのリストは、以下のウェブサイトをご覧ください：

<http://www.motorola.com/governmentandenterprise>

ソフトウェアバージョン

以下の項で説明されているすべての機能が、無線機ソフトウェアバージョン **R01.06.00** 以降でサポートされます。

無線機のソフトウェアバージョンを確認するには、64 ページの**ファームウェアバージョンの確認**を参照してください。

サポートされるすべての機能の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

コンピュータソフトウェア著作権

本マニュアルに記載されている Motorola 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola コンピュータプログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータプログラムの一定の独占権が Motorola のために保護されています。この際、著作権取得済みコンピュータプログラムを形式を問わず複製あるいは再生する独占権が含まれますが、これに限定されません。従って、本マニュアルで説明される Motorola 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola コンピュータプログラムをも、Motorola からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバースエンジニアリング、配信してはなりません。さらに、Motorola 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola の著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、このコミュニケーション機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクトコードを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルしようと試みることを、またはいかなる方法においてもオブジェクトコードを人間が読み取り可能な形式に変換しようと試みることを明確に禁じています。

米国特許 Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 および #5,195,166.

はじめに

まずは以下をご確認ください：

このユーザーガイドの使用方法	1 ページ
ディーラー/システム管理者からの情報	1 ページ
無線機の電源を入れる	2 ページ
音量調整	2 ページ

■ このユーザーガイドの使用方法

このユーザーガイドでは文字ディスプレイ付のMOTOTRBO モバイルの基本的な操作方法を説明しています。

ただし、ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

このガイドでは、アナログモードとデジタルモードのみの機能を区別するために、二つのアイコンが使われています。



一般アナログモードのみの機能を示しています。



一般デジタルモードのみの機能を示しています。

アナログとデジタルの両方のモードで利用可能な機能については、アイコンは表示されません。

一部の機能は単一サイトトランキングモードであるキャパシティプラスでも利用できます。詳しくは、7 ページのキャパシティプラスを参照してください。

■ ディーラー/システム管理者からの情報

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にご相談ください。

- 無線機は、事前設定の従来チャンネルがプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするためにどのボタンがプログラムされているか？
- どのオプションアクセサリが自分のニーズに対応するか？

■ 無線機の電源を入れる

オン/オフボタンを短く押す。無線機のディスプレイに、Motorola、MOTOTRBO (TM) が順に表示され、すぐに Motorola が再表示されます。

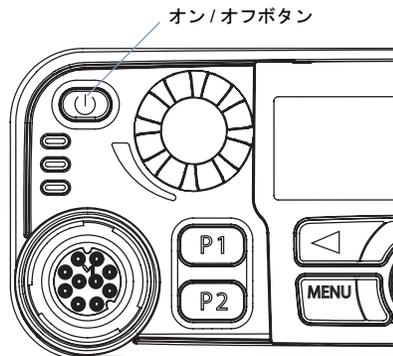
LED が緑色に点滅します。また、バックライトが自動的にオンになるように設定されている場合は、ホーム画面のライトが点灯します。

注：LED インジケータが無効になっている場合は、電源投入時にホーム画面は点灯しません（62 ページの LED インジケータのオンとオフの切り替えを参照）。

短いトーン音は、電源テストが成功したことを示しています。

注：無線機トーン / アラート機能が無効になっている場合、パワーアップトーンはありません（61 ページの無線機トーン / 警告のオンとオフの切り替え参照）。

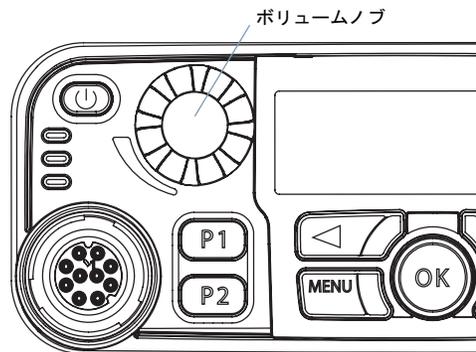
無線機の電源が入らない場合、ディーラーにお問い合わせください。



無線機の電源をオフにするには、無線機のディスプレイに Powering Down と表示されるまでオン/オフボタンを押し続けます。

■ 音量調整

音量を上げるには、ボリュームノブを時計回りに回します。



音量を下げるには、ボリュームノブを反時計回りに回します。

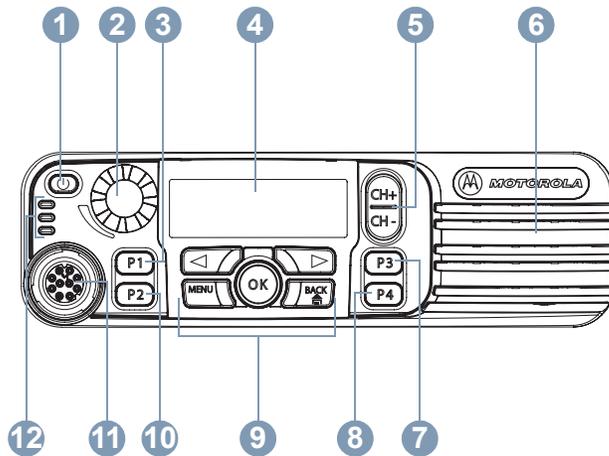
無線機コントロールの特定

まずは以下をご確認ください：

無線機コントロール	3 ページ
プログラム可能なボタン	4 ページ
プログラムされた機能のアクセス	6 ページ
プッシュトゥーク (PTT) ボタン	6 ページ
一般アナログ/デジタルモードの切り替え	7 ページ
キャパシティプラス	7 ページ

■ 無線機コントロール

- ① オン/オフボタン
- ② ボリュームノブ
- ③ フロントボタン P1*
- ④ ディスプレイ
- ⑤ チャンネル選択ボタン
- ⑥ スピーカー



- ⑦ フロントボタン P3*
- ⑧ フロントボタン P4*
- ⑨ メニューナビゲーションボタン
- ⑩ フロントボタン P2*
- ⑪ アクセサリコネクタ
- ⑫ LED インジケータ

* これらのボタンはプログラム可能です。

■ プログラム可能なボタン

担当のディーラーは、ボタンを押す長さに応じて**無線機の機能**、または最大6個の**リセットチャンネル / グループ**へのショートカットとして、プログラム可能なボタンをプログラムできます。

- 押す – 押して、すぐに放します (0.05 秒)。
- 長押し – プログラムされた長さ (1 秒から 3.75 秒の間) 押し続けます。
- 押し下げる – ボタンを押し続けます。

注： ボタンを押す長さの設定は、緊急を除くすべての指定可能な無線 / ユーティリティ機能または設定に適用することができます。詳しくは、37 ページの緊急アラームを参照してください。

📁 指定可能な無線機機能

連絡先 – 連絡先リストに直接アクセスできます。

緊急 – プログラムに応じて、緊急アラームや通話を始動またはキャンセルします。

Ext PA オン / オフ – 接続されたパブリックアドレス (PA) ラウドスピーカーアンプと無線機内部パブリックアドレス (PA) システムの間の音声ルーティングを切り替えます。

手動サイトローミング*  – 手動サイト検索を開始します。

手動ダイヤル  – 加入者 ID をキー入力して通話を開始します。キーパッドマイクでのみ使用できます。

迷惑チャンネル削除* – 選択されたチャンネルを除く不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除します。選択されたチャンネルとは、スキャンの開始元としてユーザーが選択したゾーン / チャンネルの組み合わせを指します。

ワンタッチアクセス  – 事前に定義したグループ、プライベート通話、でクイックテキストメッセージを直接開始するか、ユーザをプリセットチャンネルへ戻します。

オプションボード機能 – オプションボード有効チャンネルで、オプションボード機能のオンとオフを切り替えます。

PA オン / オフ – 無線機の内部パブリックアドレス (PA) システムのオンとオフを切り替えます。

チャンネルモニター* – 機能が無効になるまで、すべての無線機トラフィックの選択されたチャンネルを監視します。

プライバシー  – プライバシーのオンとオフを切り替えます。

無線機確認  – システム内の無線機がアクティブであるかどうかを確認します。

無線機有効  – 相手の無線機をリモートで有効にできます。

無線機無効  – 相手の無線機をリモートで無効にできます。

* キャパシティブラスでは利用不可

リモートモニター  – インジケータを表示せずに相手の無線機のマイクをオンにします。

リピーター/ダイレクトモード* – リピーターの使用と、別の無線機との直接的なコミュニケーションとを切り替えます。

スキャン* – スキャンのオンとオフを切り替えます。

サイトロックオン/オフ*  – 自動サイトローミングのオンとオフを切り替えます。

テレメトリーコントロール  – ローカルまたはリモート無線機で、出力 Pin をコントロールします。

テキストメッセージ  – テキストメッセージメニューを選択します。

リモート送信解除  – インジケータによる通知なしに、リモートの監視対象無線機の送信を停止するか、または現在進行中の割り込み可能な通話を停止し、チャンネルを解放します。

音声起動送信 (VOX) – 音声起動送信のオンとオフを切り替えます。

ゾーン – ゾーンのリストからの選択を可能にします。

指定可能な設定 / ユーティリティ機能

すべてのトーン / 警告 – すべてのトーンのオンとオフを切り替えます。

バックライト – バックライトの明るさを調整します。

ホーン / ライト – ホーンとライト機能のオンとオフを切り替えます。

パワーレベル – 送信パワーレベルの高低を切り替えます。

スケルチ  – 通常と深いスケルチレベルを切り替えます。

* キャパシティブラスでは利用不可

■ プログラムされた機能のアクセス

以下の方法のいずれかを使用して、無線機のさまざまな機能にアクセスできます。

- 該当するプログラマブルボタンを短く押すか、長く押す。



または

- メニューナビゲーションボタンを使用する（以下参照）。
- 1 メニューにアクセスするには、 ボタンを押します。適切な [メニュースクロール] ボタン (または) を押して、メニュー機能にアクセスします。
 - 2 機能を選択したり、サブメニューに入るには、 ボタンを押します。
 - 3 1つ前のメニューレベルに戻ったり、1つ前の画面に戻するには、 ボタンを押します。ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。

メニューナビゲーションボタンは、キーパッドマイクにも利用できます（65 ページの **キーパッドの使用** を参照）。

注： 一定時間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

■ プッシュ トゥ トーク (PTT) ボタン

マイクの隣にある [PTT] ボタンには基本的に二つの用途があります：

- 通話中、[PTT] ボタンを使うと、無線機を通話中の他の無線機に送信できます。



[PTT] ボタンを押し下げて話します。[PTT] ボタンを放して聞きます。

[PTT] ボタンを押すと、マイクが有効になります。

- 通話していない間、新規通話を発信するには [PTT] ボタンを使います（16 ページの **無線通話の発信** を参照）。

通話許可トーン（62 ページの **通話許可トーンのオンとオフの切り替え** を参照）または PTT サイドトーン が有効となっている場合、短い警告トーンが終了してから話します。

- 通話中、お使いの無線機でチャンネルフリー指示機能が有効になっている（ディーラーによってプログラムされている）場合、相手先の無線機（電話を受けている無線機）が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

また、無線機が緊急通話を受けた際など、通話が中断された場合、チャンネルフリー指示トーンが鳴ります。

すべての無線機トーンや警告を無効にすることにより、チャンネルフリー指示トーンまたは PTT サイドトーン

 をオフにできます (61 ページの無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え参照)。

■ 一般アナログ/デジタルモードの切り替え

無線機の各チャンネルを、一般アナログチャンネルか一般デジタルチャンネルとして設定できます。チャンネル選択ボタンを使って、アナログチャンネルとデジタルチャンネルを切り替えます。



デジタルからアナログモードに切り替えると、一定の機能が利用できなくなります。この切り替えにより、デジタル機能 (メッセージなど) のアイコンは「グレーアウト」します。無効な機能はメニューには表示されません。

無線機には、アナログとデジタルの両方のモードで利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能方法のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。

注: また、無線機は、デュアルモードスキャン中にデジタルとアナログのモードが切り替わります (28 ページのスキャン参照)。

■ キャパシティプラス

キャパシティプラスは、MOTOTRBO 無線機システムの単一サイトトランキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネルプールを使用します。この機能を使用すると、リピーターモードのとき、お使いの無線機でプログラムされたチャンネル数を有効活用できます。

メニューやプログラマブルボタンを押して、キャパシティプラスでサポートされる機能にアクセスできる場合のみ、チャンネル選択ボタンからキャパシティプラスのチャンネルにアクセスできます。

キャパシティプラスで使用できない機能のアイコンはメニューには表示されません。キャパシティプラスでは利用できない機能にプログラマブルボタンを押してアクセスしようとすると、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

無線機には、一般デジタルモードとキャパシティプラスの両方のモードで利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能方法のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。

このシステムの詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

ステータスインジケータの特定

以下によって、お使いの無線機の操作ステータスが示されます：

ディスプレイアイコン	8 ページ
通話アイコン	9 ページ
送信済みアイテムアイコン	10 ページ
LED インジケータ	10 ページ
音声トーン	11 ページ
インジケータトーン	12 ページ

■ ディスプレイアイコン

無線機の液晶ディスプレイ (LCD) には、無線機の状態、テキストエントリ、メニューエントリが表示されます。

以下は、無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。



受信信号強度インジケータ (RSSI)

バーの数で無線機の信号強度を表します。バーが4本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。



モニター

選択されたチャンネルを監視中です。

または



パワーレベル

無線機は低パワーに設定されています。

無線機は高パワーに設定されています。



トーン無効

トーンがオフです。



オプションボード

オプションボードが有効です。



オプションボード非動作

オプションボードが無効です。



GPS 有効

GPS 機能が有効です。測位が有効の場合、アイコンは表示されたままになります。(XiR M8268 のみ)



GPS 利用不可 / 範囲外

GPS 機能は有効ですが、衛星からデータを受信できません。(XiR M8268 のみ)



スキャン*

スキャン機能が有効になっています。



優先スキャン*

無線機は、優先度 1 (●点滅時) または優先度 2 (●点灯時) に指定されたチャンネル / グループ上にアクティビティがあることを検出しています。

* キャパシティプラスでは利用不可

**未読メッセージ**

受信トレイに未読メッセージがあります。

**受信トレイが一杯**

ユーザーの受信トレイが一杯です。

**緊急**

無線機が緊急モードです。

**セキュア**

プライバシー機能が有効です。

**非セキュア**

プライバシー機能が無効です。

**サイトローミング***

自動サイトローミング機能が有効です。

**ダイレクトモード***

リピーターがない場合、ディレクト無線機が無線通信に設定されています。

■ 通話アイコン

以下は、通話中に無線機のディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、エイリアスまたは ID タイプを示すために連絡先リストにも表示されます。

**プライベート通話**

プライベート通話中であることを示します。連絡先リストでは、加入者のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。

**グループ通話 / 一斉通話**

グループ通話中または一斉通話中であることを示します。連絡先リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。

* キャパシティプラスでは利用不可

■ 送信済みアイテムアイコン

以下のアイコンは、送信済みアイテムフォルダで無線機のディスプレイの右上コーナーに表示されます。



送信成功

テキストメッセージが無事送信されたことを示します。



送信失敗

テキストメッセージを送信できません。

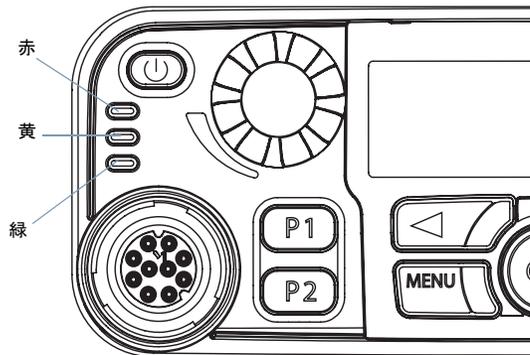


実行中

- グループのエイリアスまたは ID へのテキストメッセージの送信が保留中です。
- 加入者のエイリアスまたは ID へのテキストメッセージの送信は保留となり、承認を待っている状態です。

■ LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。



赤色の点滅 – 無線機が緊急送信を受信しているか、あるいは電源を入れた際のセルフテストが失敗しています。

黄色の点灯 – 無線機がチャンネルを監視しています。

黄色の点滅 – 無線機がアクティビティをスキャンしているか、あるいはページングを受信しています。

黄色の2回点滅 – 無線機がキャパシティプラスであってもリピーターに接続されていないか、キャパシティプラスの全チャンネルが現在ビジーです。

黄色の急速な点滅 – 無線機が現在、新しいサイトを検索しています。

緑色の点灯 – 無線機が送信しています。

緑色の点滅 – 無線機の電源が入り、非プライバシー有効通話またはデータを受信しているか、OTA (over the air) のアクティビティを検知しています。

緑色の急速な点滅 – 無線機がプライバシー有効通話かデータを受信しています。

注： 従来モードで LED が緑色に点滅した場合、無線機が無線アクティビティを検出したことを表します。デジタルプロットコールの性質により、このアクティビティは無線機のプログラム済みチャンネルに影響を与える、または与えない場合があります。

キャパシティプラスでは、無線機が無線アクティビティを検出する際に LED での通知はありません。

PTT ボタンを押すと、無線機が適切な動作をプログラムされていれば、無線機は通話許可トーンまたは通話拒否トーンによって、送信可能かどうかを自動的に判別します。

■ 音声トーン

警告トーンは、無線機のステータスまたは受信データへの無線機の反応を音声で示します。

連続トーン 	モノトーン音終了まで音が続きます。
定期的トーン 	無線機で設定された時間に応じ、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止して、繰り返されます。
反復トーン 	ユーザーが終了するまで、シングルトーンが繰り返されます。
瞬間トーン 	無線機で定義された短い時間、一度だけ音が鳴ります。

■ インジケータ トーン

高いトーン □

低いトーン ■



ポジティブインジケータ
トーン



ネガティブインジケータ
トーン

通話の着信と発信

MOTOTRBO モバイルの設定方法についてご理解いただけましたら、いよいよ無線機をお使いいただけます。

このナビゲーションガイドを使って、基本的な通話機能に慣れてください。

サイト選択	12 ページ
ゾーン選択	13 ページ
無線チャンネル、加入者のエイリアスまたは ID、 もしくはグループのエイリアスまたは ID 選択	13 ページ
無線通話の受信と応答	14 ページ
無線通話の発信	16 ページ
無線通話の停止	19 ページ
ダイレクトモード	20 ページ
チャンネルモニター	21 ページ

■ サイト選択

サイトとは、ベースステーションが設置され、無線機に最適な通信範囲を提供している特定の地域のことです。

有効になっていれば、無線機はインターネットプロトコル (IP) ネットワークを経由して、別の利用可能サイトに接続できます。

詳しくは、52 ページの **IP サイト接続** を参照してください。

■ ゾーン選択

ゾーンとは、チャンネルのグループのことです。無線機は最大250のゾーンをサポートします。1ゾーンの最大チャンネル数は160です。

以下の手順でゾーンを選択します。

手順：

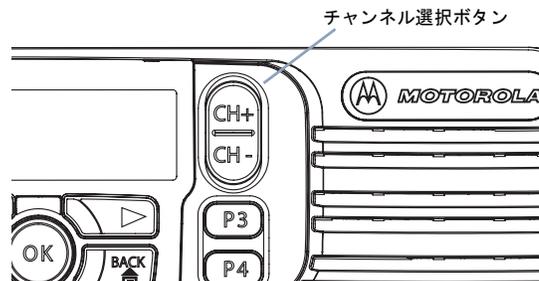
プログラムされた [ゾーン] ボタンを押して、ステップ3に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Zone に移動し、 を押して選択します。
- 3 現在のゾーンが表示され、✓ で示されます。
- 4  または  を押して必要なゾーンに移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイに <Zone> Selected と表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。

■ 無線チャンネル、加入者のエイリアスまたはID、もしくはグループのエイリアスまたはIDを選択



手順：

必要なゾーンを設定したら（無線機に複数のゾーンがある場合）、チャンネル選択ボタンを押して、チャンネル、加入者のエイリアスまたはID、もしくはグループのエイリアスまたはIDを選択します。

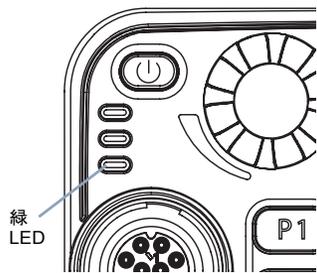
または

プログラムされた [ワンタッチアクセス] ボタンを押し、ボタンに割り当てられたプリセットチャンネルを選択します。

■ 無線通話の受信と応答

チャンネル、加入者のエイリアスまたは ID、もしくはグループのエイリアスまたは ID が表示されたら、通話の受信や応答に進むことができます。

無線機の送信中は緑色の LED が点灯し、無線機が受信している際には点滅します。



注：無線機の送信中は緑色の LED が点灯し、無線機がプライバシー有効通話を受信している際には急速に点滅します。

プライバシー有効通話のスクランブルを解除するには、お使いの無線機が、送信側無線機（通話を受信している無線機）と同一のプライバシーキー、または同一のキー値とキー ID（ディーラーがプログラミング）を有している必要があります。

詳しくは、51 ページの **プライバシー** を参照してください。



📄 グループ通話の受信と応答

ユーザーのグループから通話を受信するには、お使いの無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

手順：

グループ通話を受信する場合（ホーム画面で）：

- 1 緑色の LED が点滅します。

- 2 ディスプレイの 1 行目に、発信者のエイリアスまたは ID と、RSSI アイコンが表示されます。2 行目には、グループのエイリアスまたは ID と、グループ通話アイコンが表示されます（デジタルモードの場合のみ）。

- 3  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが解放され応答できるようになったことを示しています。通話に応答するには、[PTT] ボタンを押します。
または
 音声割込み機能が有効になっている場合、[PTT] ボタンを押して送信側無線機からの通話を停止し、会話 / 応答ができるようにそのチャンネルを解放します。

- 4 緑色の LED が点灯します。

5 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

または

 PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

6 [PTT] ボタンを放して聞きます。

7 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

グループ通話について詳しくは、17 ページの**グループ通話発信**を参照してください。

注：無線機が、ホーム画面以外の画面でグループ通話を受信すると、通話に応答するまでその画面のままとなります。

応答前に発信者のエイリアスを確認するには、 ボタンを長く押ししてホーム画面に戻ります。

プライベート通話の受信と応答

プライベート通話とは、ある一つの無線機から別の一つの無線機への通話のことです。

プライベート通話には二種類あります。一つは、通話設定の前に無線機プレゼンスチェックが行われる場合で、もう一つは通話を即座に設定するものです。

無線機がチェックされると、緑色の LED が点滅します。

ディーラーは、これらの通話タイプの**いずれか 1 つのみ**を無線機にプログラムできます。

手順：

プライベート通話を受信する際：

1 緑色の LED が点滅します。

2 ディスプレイの 1 行目に、加入者のエイリアスまたは ID と、RSSI アイコンが表示されます。2 行目には、Private Call とプライベート通話アイコンが表示されます。

3 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが解放され応答できるようになったことを示しています。通話に応答するには、[PTT] ボタンを押します。

または

音声割込み機能が有効になっている場合、[PTT] ボタンを押して送信側無線機からの現在の通話を停止し、会話 / 応答ができるようにそのチャンネルを解放します。

4 緑色の LED が点灯します。

5 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

6 [PTT] ボタンを放して聞きます。

7 事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

8 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには Call Ended と表示されます。

プライベート通話について詳しくは、17 ページの**プライベート通話発信**を参照してください。

📄 一斉通話の受信

一斉通話とは、ある一つの無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知を行うために使われます。

手順：

一斉通話を受信する際：

- 1 トーンが鳴り、緑色の LED が点滅します。
- 2 ディスプレイの 1 行目に、発信者のエイリアスと RSSI アイコンが表示されます。2 行目には、All Call と一斉通話アイコンが表示されます。
- 3 一斉通話が終了すると、通話を受信する前の画面に戻ります。
🔊 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉通話に応答することはできません。

一斉通話について詳しくは、18 ページの**一斉通話の発信**を参照してください。

注：通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機は一斉通話の受信を停止します。

一斉通話中は、通話が終了するまで、メニューナビゲーションや編集は続行できません。

■ 無線通話の発信

以下を使って、チャンネル、加入者のエイリアスまたは ID、もしくはグループのエイリアスまたは ID を選ぶことができます：

- チャンネル選択ボタン
- プログラムされた [ワンタッチアクセスワンタッチアクセス] ボタン 🔊
- 連絡先リスト (30 ページの**連絡先設定**参照)
- 手動ダイヤル (連絡先から) – この方法はプライベート通話専用で、キーパッドマイクを使用してダイヤルします (68 ページの**手動ダイヤルによるプライベート通話発信**参照) 🔊

注：プライバシー有効送信を送るには、お使いの無線機のチャンネルでプライバシー機能が有効になっている必要があります。お使いの無線機と同じプライバシーキーの相手先無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。

詳しくは、51 ページの**プライバシー**を参照してください。



📄 チャンネル選択ボタンからの発信

📄 グループ通話発信

ユーザーのグループに通話を発信するには、お使いの無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

手順：

- 1 チャンネル選択ボタンを押し、アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。
- 2 [PTT] ボタンを押し、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、グループのエイリアスとグループ通話アイコンが表示されます。
- 3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
📞 PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
- 4 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。ディスプレイに、グループ通話アイコン、送信中の無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

- 5 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。



または

事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

- 6 無線機は通話を開始する前の画面に戻ります。

連絡先からもグループ通話を行えます（30 ページの**連絡先からのグループ通話発信**参照）。

📄 プライベート通話発信 📞

許可した個別の無線機が開始したプライベート通話の受信や応答を行うには、お使いの無線機がプライベート通話を開始できるようにプログラムされている必要があります。

この機能が無効である場合に、連絡先リスト、通話ログ、[ワンタッチアクセス] ボタン、またはチャンネル選択ボタンからプライベート通話を試みると、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

テキストメッセージまたはページングを使用して、個別の無線機に連絡します。詳しくは、42 ページの**テキストメッセージング機能**、または 36 ページの**ページング**を参照してください。

手順：

- 1 チャンネル選択ボタンを押し、アクティブな加入者のエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。
- 2 [PTT] ボタンを押し、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。1 行目に、加入者のエイリアスまたは ID が表示されます。2 行目には、Private Call とプライベート通話アイコンが表示されます。
- 3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
- 4 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。
- 5 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押し、応答します。
または
事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 6 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには Call Ended と表示されます。

連絡先からプライベート通話を行ったり（31 ページの**連絡先からのプライベート通話発信**を参照）、手動ダイヤルでプライベート通話を行ったり（68 ページの**手動ダイヤルによるプライベート通話発信**を参照）、キーパッド入力が必要なエイリアスを素早く検索することもできます（英数字のみ。68 ページの**エイリアス検索によるプライベート通話発信**を参照）。

📄 一斉通話の発信

この機能により、チャンネルのすべてのユーザーに送信できます。この機能を使えるよう、お使いの無線機がプログラムされている必要があります。

手順：

- 1 チャンネル選択ボタンを押し、アクティブな一斉通話グループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選びます。
- 2 [PTT] ボタンを押し、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、一斉通話グループのエイリアスまたは ID と、一斉通話アイコンが表示されます。
- 3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
📞 PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

チャンネルのユーザーは一斉通話に応答することはできません。

📄 [ワンタッチアクセス]ボタンでグループまたはプライベート通話を発信 📞

ワンタッチアクセス機能により、事前設定されたエイリアスまたは ID に対し、簡単にグループやプライベート通話をかけられます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すというプログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。

[ワンタッチアクセス] ボタンに指定されるエイリアスまたは ID は一つのみです。お使いの無線機で、複数の [ワンタッチアクセス] ボタンをプログラムすることが可能です。

手順：

- 1 プログラムされた [ワンタッチアクセス] ボタンを押し、事前に定義されたエイリアスまたは ID にグループやプライベート通話をかけます。
- 2 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、グループ / 加入者のエイリアスまたは ID、およびグループ通話 / プライベート通話アイコンが表示されます。
- 3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
📞 **グループ通話のみ**：PTT（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

4 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。

5 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。
または
事前に定められた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

6 無線機は通話を開始する前の画面に戻ります。

プライベート通話の場合、通話が終了すると短いトーンが聞こえます。

■ 無線通話の停止 📞

この機能により、現在進行中のグループまたはプライベート通話を停止し、送信のためにチャンネルを解放することができます。例えば、ユーザーが気づかずに [PTT] ボタンを押してしまいう「スタックマイクロフォン」の状態にある場合に、この機能を使うことができます。

この機能を使用するには、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

手順：

必要なチャンネル上で：

- 1 プログラムされた [リモート送信解除] ボタンを押します。
- 2 ディスプレイに Remote Dekey と表示されます。
- 3 承認を待ちます。
- 4 無線機がポジティブインジケータトーンを鳴らし、ディスプレイに Remote Dekey Success と表示されます。これはチャンネルが解放されていることを示しています。
または
無線機がネガティブインジケータトーンを鳴らし、ディスプレイに Remote Dekey Failed と表示されます。

無線機から発信されている通話が、この機能による割り込みが可能な通話である場合、ディスプレイに Call Interrupted と表示され、無線機は [PTT] ボタンを放すまでネガティブインジケータトーンを鳴らします。

■ ダイレクトモード

リピーターが作動していない場合や、お使いの無線機がリピーターの圏外にある場合でも、他の無線機が通話範囲内であればコミュニケーションを継続できます。これが「ダイレクトモード」と呼ばれる機能です。

注：この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

手順：

プログラムされた [リピーター/ダイレクトモード] ボタンを押して、ダイレクトモードモードとリピーターモード間を切り替えます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して Talkaround に移動し、 を押して選択します。
- 5 無線機がリピーターモードであれば、Turn On と表示されます。
または
無線機がダイレクトモードモードであれば、Turn Off と表示されます。
- 6  を押して選択します。
- 7 ディスプレイには Talkaround On と表示されます。
または
ディスプレイには Talkaround Off と表示されます。
- 8 画面は自動的に前のメニューに戻ります。

電源が切れた後も、ダイレクトモード設定が保持されます。

■ チャンネルモニター

チャンネルモニターを使って、選択したチャンネルのアクティビティを継続的に監視します。

注：この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

手順：

- 1 プログラムされた [チャンネルモニター] ボタンを押します。
- 2 無線機が警告トーンを発します。LED が黄色く点灯し、ディスプレイに Permanent Monitor On と表示されます。ディスプレイにモニターアイコンが表示されます。
- 3 プログラムされた [チャンネルモニター] ボタンを押し、チャンネルモニターモードを終了します。
- 4 無線機が警告トーンを発します。LED が消灯し、ディスプレイに Permanent Monitor Off と表示されます。

高度機能

このナビゲーションガイドを使って、お使いの無線機で利用可能な高度な機能について詳しく学びましょう。

無線機確認	22 ページ
リモートモニター	24 ページ
スキャンリスト	25 ページ
スキャン	28 ページ
連絡先設定	30 ページ
通話インジケータ設定	32 ページ
通話ログ機能	34 ページ
ページング	36 ページ
緊急アラーム	37 ページ
テキストメッセージング機能	42 ページ
プライバシー	51 ページ
IP サイト接続	52 ページ
セキュリティ	55 ページ
ローンワーカー	57 ページ
ユーティリティ	57 ページ

無線機確認

有効である場合、この機能を使用することで、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、その無線機のユーザーを呼出さずに判断できます。相手先の無線機には、音声や映像による通知は行われません。

この機能は、加入者のエイリアスまたは ID にのみ利用できます。

無線機確認の送信

手順：

プログラムされた [無線機確認] ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた [無線機確認] ボタンを押します。
- 2  または  を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 3 ディスプレイには Radio Check: <Subscriber Alias or ID> と表示され、無線機確認が実行中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- 4 承認を待ちます。

- 5 相手先無線機がシステム内でアクティブであれば、トーンが鳴り、ディスプレイに Target Radio Available と短く表示されます。

または

相手先無線機がシステム内でアクティブでない場合、トーンが鳴り、ディスプレイに Target Radio Not Available と短く表示されます。

- 6 加入者のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

または

手順:

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Radio Check に移動し、 を押して選択します。

- 5 ディスプレイには Radio Check: <Subscriber Alias or ID> と表示され、無線機確認が実行中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- 6 承認を待ちます。

- 7 相手先無線機がシステム内でアクティブであれば、トーンが鳴り、ディスプレイに Target Radio Available と短く表示されます。

または

相手先無線機がシステム内でアクティブでない場合、トーンが鳴り、ディスプレイに Target Radio Not Available と短く表示されます。

- 8 加入者のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

無線機が承認待ちのときに  ボタンを押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機確認モードを終了します。

手動ダイヤルで無線機確認を開始することもできます 66 ページの (手動ダイヤルによる無線機確認の開始を参照)。

■ リモートモニター

リモートモニター機能を使用して、相手先の無線機のマイクをオンにします (加入者の ID のみ)。相手先の無線機には、音声や表示による通知は行われません。この機能を使用することで、相手先無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートから監視できます。

この機能を使えるよう、お使いの無線機がプログラムされている必要があります。

リモートモニターの開始

手順:

プログラムされた [リモートモニター] ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた [リモートモニター] ボタンを押します。
- 2  または  を押して必要な加入者のエリアまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 3 無線機から警告トーンが鳴り、LED が緑色に点滅します。
- 4 承認を待ちます。
- 5 ディスプレイに Remote Monitor Successful と表示されます。
または
ディスプレイに Remote Monitor Failed と表示されます。

6 成功時:

無線機は、プログラムされた期間、モニター対象無線機からの音声の受信を開始します。
タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、緑色の LED が消灯します。ディスプレイに Remote Monitor Ended と表示されます。

または

失敗時:

無線機は、プログラムされた試行回数が終わるまで試行を続けます。

または

手順:

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要な加入者のエリアまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Remote Mon. に移動し、 を押して選択します。

- 5 無線機から警告トーンが鳴り、LED が緑色に点滅します。
- 6 承認を待ちます。
- 7 ディスプレイに Remote Monitor Successful と表示されます。
または
ディスプレイに Remote Monitor Failed と表示されます。
- 8 成功時：
無線機は、プログラムされた期間、モニター対象無線機からの音声の受信を開始します。
タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、緑色の LED が消灯します。ディスプレイに Remote Monitor Ended と表示されます。
または
失敗時：
無線機は、プログラムされた試行回数が終わるまで試行を続けます。

手動で相手先無線機アドレスを選択することもできます (67 ページの手動ダイヤルによるリモートモニターの開始を参照)。

📄 リモートモニターの停止

手順：

- 1 プログラムされた [リモート送信解除] ボタンを押します。
- 2 ディスプレイに Remote Dekey と表示されます。
- 3 承認を待ちます。

- 4 無線機がポジティブインジケータトーンを鳴らし、ディスプレイに Remote Dekey Success と表示されます。これはチャンネルが解放されていることを示しています。
または
無線機がネガティブインジケータトーンを鳴らし、ディスプレイに Remote Dekey Failed と表示されます。

■ スキャンリスト

スキャンリストは、個別チャンネル / グループに対して作成され、割り当てられます。現在のチャンネル / グループのスキャンリストで指定されたチャンネル / グループ系列を循環することにより、お使いの無線機が音声アクティビティをスキャンします。

無線機は最大 250 のスキャンリストをサポートできます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。各スキャンリストはアナログとデジタルの両方が混在するエントリをサポートします。

スキャンリストを編集して、チャンネルの追加、削除、または優先順位付けを行えます。

注：この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

📁 スキャンリスト内のエントリの表示

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Scan に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して View/Edit List に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を使用して、リストにある各メンバーを表示します。

メンバーのエイリアスの左に優先度アイコンが表示されます (設定されている場合)。これは、メンバーが優先度 1 または優先度 2 のチャンネルリストに含まれているかどうかを示します。スキャンリストに複数の優先度 1 または優先度 2 チャンネルを含めることはできません。

優先度を **None** に設定すると優先度アイコンは表示されません。

📁 スキャンリストの編集

📁 スキャンリストへの新規エントリの追加

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Scan に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して View/Edit List に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Add Member に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 6  または  を押して必要な優先度にし、 を押して選択します。
- 7 ディスプレイには Entry Saved と表示され、その次に Add Another? と表示されます。
- 8 別のエントリを追加するには、 または  を押して Yes を表示し、 を押してこれを選択してから、ステップ 5 と 6 を繰り返します。
または
現在のリストを保存するには、 または  を押して、No を表示し、 を押して選択します。

📄 スキャンリストからのエントリの削除

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Scan に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して View/Edit List に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Delete に移動し、 を押して選択します。
- 6 Delete Entry? が表示されたら、 または  を押して Yes に移動し、 を押してこれを選択して、エントリを削除します。ディスプレイには Entry Deleted と表示されます。
または
 または  を押して No に移動し、 を押して、前の画面に戻ります。
- 7 ステップ 4 から 6 を繰り返してその他のエントリを削除します。

すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、 を長く押してホーム画面に戻ります。

📄 スキャンリスト内のエントリの優先度の設定と編集

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Scan に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して View/Edit List に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Edit Priority に移動し、 を押して選択します。
- 6  または  を押して必要な優先度にし、 を押して選択します。
- 7 ディスプレイには Entry Saved と表示され、その後前の画面に戻ります。
- 8 優先度アイコンがメンバー名の左側に表示されます。

優先度を **None** に設定すると優先度アイコンは表示されません。

■ スキャン

スキャンを開始すると、現在のチャンネルのプログラムスキャンリストを無線機が循環し、音声アクティビティを検索します。黄色のLEDが点滅し、スキャンアイコンがディスプレイに表示されます。

デュアルモードスキャン中、デジタルチャンネルをお使いの場合、無線機はアナログチャンネルにロックされます。通話中、デジタルモードからアナログモードに自動的に切り替わりません。逆もまた同じです。

スキャンを開始するには2通りの方法があります。

- **メインチャンネルスキャン (手動)**: お使いの無線機が、スキャンリストにあるすべてのチャンネル / グループをスキャンします。スキャンを開始すると、設定に応じて、最近スキャンされた「アクティブな」チャンネル / グループ、あるいはスキャンが開始されたチャンネルで無線機が自動的に開始する場合があります。
- **自動スキャン (自動)**: 自動スキャンが有効になっているチャンネル / グループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。

注: この機能はキャパシティブラスでは利用不可です。

📄 スキャン開始と停止

手順:

プログラムされた [Scan] ボタンを押して、スキャンを開始、または停止します。または以下の手順に従います。

- 1 チャンネル選択ボタンを使用して、スキャンリストがプログラムされたチャンネルを選択します。
- 2  を押してメニューにアクセスします。
- 3  または  を押して Scan に移動し、 を押して選択します。
- 4 スキャンが無効であれば、ディスプレイに Turn On と表示されます。
または
スキャンが有効であれば、ディスプレイに Turn Off と表示されます。
- 5  を押して選択します。
- 6 スキャンが有効になると、黄色のLEDが点滅し、スキャンアイコンがディスプレイに表示されます。
または
スキャンが無効になると、黄色のLEDが消灯し、スキャンアイコンはディスプレイに表示されません。

スキャン中、無線機は選択されたチャンネルから送信されるデータ (テキストメッセージ、位置情報、テレメトリー、PC データなど) の受信のみを行います。

📄 スキャン中の送信への応答

スキャン中、お使いの無線機はアクティビティが検知されたチャンネル/グループで停止します。無線機は、「ハングタイム」と呼ばれるプログラムされた時間だけそのチャンネルにとどまります。

手順：

- 1  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。
- 2 ハングタイム中に [PTT] ボタンを押します。緑色の LED が点灯します。
- 3 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
 PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
- 4 [PTT] ボタンを放して聞きます。
- 5 ハングタイム中に応答しないと、無線機は他のチャンネル/グループのスキャンに戻ります。

📄 迷惑チャンネルの削除

チャンネルが不要な通話やノイズ（「迷惑」チャンネルと称する）を作成し続ける場合、その不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除することができます。

この機能は、選択チャンネルとして指定されたチャンネルには適用されません。

手順：

- 1 無線機が不要あるいは迷惑チャンネルに「ロック」されたら、プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンをトーンが聞こえるまで押します。
- 2 [迷惑チャンネル削除] ボタンを放します。迷惑チャンネルが削除されます。

「迷惑」チャンネルの削除は、プログラムされた [迷惑チャンネル削除] ボタンからのみ行えます。この機能は、メニューからはアクセスできません。

📄 迷惑チャンネルの復元

手順：

削除された迷惑チャンネルを復元するには、以下のいずれかを行ってください：

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。または
- プログラムされた [スキャン] ボタン、またはメニューでスキャンを停止し、再開します。または
- チャンネル選択ボタン経由でチャンネルを変更します。

■ 連絡先設定

連絡先は、無線機の「アドレス帳」機能です。各エントリは、通話の発信先とするエイリアスまたは ID に対応します。

さらに、各エントリは状況に応じて、グループ通話、プライベート通話、一斉通話、PC 通話、ディスパッチ通話の 5 種類の通話のいずれか 1 つに関連付けられています。

PC 通話とディスパッチ通話はデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合のみ利用できます。詳細については、データアプリケーションのマニュアルを参照してください。

注：あるチャンネルでプライバシー機能が有効であれば、そのチャンネルで、プライバシーが有効であるグループ通話、プライベート通話、および一斉通話を行えます。お使いの無線機と同一のプライバシーキー、または同一のキー値とキー ID を有する相手先無線機のみが、送信内容をスクランブル解除できます。

詳しくは、51 ページの **プライバシー** を参照してください。



お使いの無線機は、2 つの連絡先リストをサポートします。アナログ連絡先とデジタル連絡先です。各連絡先リストは最大で 500 メンバーです。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- 通話タイプ
- 通話エイリアス
- 通話 ID

注：デジタル連絡先リストの加入者のエイリアスまたは ID の追加、削除、編集を行えます。

アナログ連絡先リストの場合、リストの表示とページングの開始のみ行えます。追加、削除、および編集機能は、ディーラーのみが実行できます。

連絡先からのグループ通話発信

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して **Contacts** に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3  または  を押して必要なグループエイリアスまたは ID に移動します。
- 4 **[PTT]** ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、グループのエイリアスとグループ通話アイコンが表示されます。
- 5 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
 **PTT** サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

- 6 [PTT] ボタンを放して聞きます。グループ内の任意のユーザーが応答すると、緑色の LED が点滅します。ディスプレイに、グループ通話アイコン、グループのエイリアスまたは ID、およびユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。
- 7  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。
または
プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 5 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
- 6 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先無線機が応答すると LED は緑色に点滅し、ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID が表示されます。
- 7 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。
または
プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。

連絡先からのプライベート通話発信

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3  または  を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動します。
- 4 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。1 行目に、加入者のエイリアスまたは ID が表示されます。2 行目には、Private Call とプライベート通話アイコンが表示されます。

- 8 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには Call Ended と表示されます。

注：無線機が通話を設定しているときに、[PTT] ボタンを放すと、無線機は通知なしに前の画面に戻ります。

プライベート通話を設定する前に、無線機プレゼンスチェックを実行するように無線機をプログラムすることができます。相手先無線機が利用不可であれば、短いトーンが鳴り、ディスプレイに Party Not Available と短く表示されます。

無線機は、無線機プレゼンスチェックを開始する前のメニューに戻ります。

■ 通話インジケータ設定

📄 プライベート通話用着信音のオン、オフの切り替え



受信プライベート通話の着信音のオンとオフを切り替えられます。

手順:

- 1 を押してメニューにアクセスします。
- 2 または を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3 または を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4 または を押して Tones/Alerts に移動し、 を押して選択します。
- 5 または を押して Call Ringers に移動し、 を押して選択します。
- 6 または を押して Private Call に移動し、 を押して選択します。
- 7 ディスプレイには Turn On と表示されます。 を押して、プライベート通話の着信音を有効にします。ディスプレイには Private Call Ringer On と表示されます。
または
ディスプレイには Turn Off と表示されます。 を押して、プライベート通話の着信音を無効にします。ディスプレイには Private Call Ringer Off と表示されます。

📄 テキストメッセージ用着信音のオン、オフの切り替え



受信テキストメッセージの着信音のオンとオフを切り替えられます。

手順:

- 1 を押してメニューにアクセスします。
- 2 または を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3 または を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4 または を押して Tones/Alerts に移動し、 を押して選択します。
- 5 または を押して Call Ringers に移動し、 を押して選択します。
- 6 または を押して Text Message に移動し、 を押して選択します。
- 7 現在のトーンは ✓ で示されます。
- 8 または を押して必要なトーンを表示し、 を押して選択します。ディスプレイには、Tone <Number> Selected と表示され、選択したトーンの左側に ✓ が表示されます。
または
 または を押して Turn Off に移動し、 を押して選択します。ディスプレイには、Text Message Ringer Off と表示され、Turn Off の左側に ✓ が表示されます。

テキスト付きテレメトリー状態着信音のオン、オフの切り替え

テキスト付きテレメトリー状態の着信音のオンとオフを切り替えられます。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して Tones/Alerts に移動し、 を押して選択します。

- 5  または  を押して Call Ringers に移動し、 を押して選択します。

- 6  または  を押して Telemetry に移動し、 を押して選択します。

- 7 現在のトーンは ✓ で示されます。

- 8  または  を押して必要なトーンを表示し、 を押して選択します。ディスプレイには、Tone <Number> Selected と表示され、選択したトーンの左側に ✓ が表示されます。
 または
 または  を押して Turn Off に移動し、 を押して選択します。ディスプレイには、Telemetry Ringer Off と表示され、Turn Off の左側に ✓ が表示されます。

着信音スタイルの割り当て

特定の連絡先からページングやテキストメッセージを受信すると、事前定義された 10 個の着信音のいずれか 1 つが鳴るように、無線機をプログラムできます。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して Ring Style に移動し、 を押して選択します。

- 5 現在のトーンは ✓ で示されます。

- 6  または  を押して必要なトーンに移動し、 を押して選択します。

- 7 ディスプレイには Contact Saved と表示されます。

リストを操作すると、各着信音スタイルが鳴ります。

警告トーンの音量を上げる

無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発するよう、無線機をプログラムできます。時間が経つ毎に警告トーンが自動的に大きくなるようになっています。この機能はエスカラート (Escalart) として知られています。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Tones/Alerts に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Escalart に移動し、 を押して選択します。
- 6 ディスプレイには Turn On と表示されます。 を押してエスカラートを有効にします。ディスプレイには Escalart On と表示されます。
または
ディスプレイには Turn Off と表示されます。 を押してエスカラートを無効にします。ディスプレイには Escalart Off と表示されます。

通話ログ機能

無線機は、最近の発信、応答、不在のプライベート通話をすべて記録します。通話ログ機能を使用して、最近の通話を表示して管理します。

各通話リストでは以下のタスクを実行できます。

- 連絡先へのエイリアスまたは ID の格納
- 削除

最近の通話の表示

リストは Missed、Answered、および Outgoing です。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Call Log に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なリストを表示し、 を押して選択します。
- 4 ディスプレイには、最近のエントリがリストの最初に表示されます。
- 5  または  を押して、リストを表示します。

[PTT] ボタンを押して、現在選択されているエイリアスまたは ID にプライベート通話を開始します。

📄 不在通話画面

通話に応答できなかった場合、無線機に不在通話メッセージが表示されます。不在通話をすぐ表示するには View を、後で表示するには View Later を選択します。

注：不在通話番号が表示された状態で、[PTT] ボタンを押すと、無線機は不在着信画面を終了し、プライベート通話を開始します。

手順：

- 1 ディスプレイには、Missed Calls と不在通話の回数、および View が表示されます。
- 2  を押して、不在通話のエイリアスまたは ID を表示します。ディスプレイに不在通話ログリストが表示されます。 を押して、エントリの格納や削除を行います。
または
 または  を押して View Later に移動し、 を押して選択します。ホーム画面に戻ります。

不在通話リストからのエイリアスまたは ID を格納/保存するには、69 ページの**不在通話リストのエイリアスまたは ID の格納**を参照してください。

📄 通話リストからの通話の削除

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Call Log に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なリストに移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Delete Entry に移動し、 を押して選択します。
- 6  または  を押して Yes に移動し、 を押して選択します。
- 7 ディスプレイには Entry Deleted と表示されます。

選択した通話リストにエントリが存在しない場合、ディスプレイに List Empty と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります (66 ページのキーパッドトーンのオンとオフの切り替えを参照)。

■ ページング

ページングにより、相手が応答できる状態になった際にかけ直しよう、特定の無線機ユーザーに警告することができます。

この機能は、加入者のエイリアスまたは ID にのみ適用され、連絡先または手動ダイヤルメニューからアクセスできます。

📄 ページングの受信と応答

ページングを受信すると、呼び出し元無線機のディスプレイに Call Alert とエイリアスまたは ID が交互に表示されます。

手順：

- 1 繰り返しトーンが聞こえます。黄色の LED が点滅します。
- 2 ページングを受信してから 4 秒以内に [PTT] ボタンを押して、プライベート通話に応答します。
または
👉 ボタンを押して、ページングを終了します。

📄 連絡先リストからのページング発信

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、👉 を押して選択します。
- 3  または  を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、👉 を押して選択します。
- 4  または  を押して Call Alert に移動し、👉 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには Call Alert! <Subscriber Alias or ID> と表示され、ページングが送信されたことが示されません。
- 6 無線機がページングを送信している間は緑色の LED が点灯します。
- 7 ページング承認を受信すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Call Alert Successful と表示されます。
または
ページング承認を受信しない場合、トーンが鳴り、ディスプレイに Call Alert Failed と表示されます。

加入者 ID を手動でダイヤルしても通ページングを送信できません (70 ページの手動ダイヤルによる緊急通話発信を参照)。

📄 ワンタッチアクセスでページングをするボタン 🎵

手順：

- 1 プログラムされた [ワンタッチアクセス] ボタンを押し、事前に定義されたエイリアスまたは ID にページングをします。
- 2 ディスプレイには Call Alert: <Subscriber Alias or ID> と表示され、ページングが送信されたことが示されます。
- 3 無線機がページングを送信している間は緑色の LED が点灯します。
- 4 ページング承認を受信すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Call Alert Successful と表示されます。
または
ページング承認を受信しない場合、トーンが鳴り、ディスプレイに Call Alert Failed と表示されます。

■ 緊急アラーム

重大な状況を示すために、緊急アラームが使われます。いつでも、どの画面でも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急アラームを開始することができます。

担当のディーラーはプログラムされた [緊急] ボタンにボタンを押す長さを設定することができます。

- 押す – 0.05 秒から 0.75 秒の間
- 長く押す – 1 秒から 3.75 秒の間

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています：

- 緊急アラーム
- 通話及び緊急アラーム
- ハンズフリー緊急アラーム 🎵

また、各警告には以下のタイプがあります：

- レギュラー – 無線機が警告シグナルを送信し、音声および視覚的インジケータを示します。
- サイレント – 音声あるいは視覚的インジケータなしに、無線機が警告シグナルを送信します。[PTT] ボタンを押して通話を開始するまで、相手先の無線機から応答（通話）はありません。

- **音声つきサイレント** – 無線機が警告シグナルを送信します。[PTT] ボタンを押して通話を開始、あるいは応答するまで、音声や視覚的インジケータなしに着信通話を受信することができます。

上記の緊急アラームの中のいずれかをプログラムした [緊急] ボタンが緊急フットスイッチに割り当てることができます。

📞 緊急アラームの受信

手順：

- 1 緊急アラームを受信すると、ディスプレイに緊急アイコンと受信した警告の個数が表示され、Alarm Rcvd と送信者のエイリアスまたは ID が交互に表示されます。
- 2 トーンが鳴り、赤色の LED が点滅します。
- 3 有効である場合、無線機は緊急アラームを自動的に承認します。

無線機が緊急アラームを受信すると、承認を送信し、ユーザーが緊急モードを終了するまで、緊急アラーム受信通知が表示されます。

緊急アラーム受信画面を終了するまで、他のどのような通知も受信できず、その他の通話も表示されません。

注：  を短く押してから、プログラムされた [緊急] ボタンを押して、緊急アラーム受信通知をクリアし、緊急モードを終了します。

📞 緊急アラームへの応答

手順：

緊急アラームの受信時：

- 1 任意のボタンを押して、すべての緊急アラーム受信通知を停止します。
- 2  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが解放され応答できるようになったことを示しています。
- 3 [PTT] ボタンを押して、緊急アラームを開始した無線機と通話を行います。緑色の LED が点灯します。無線機は緊急モードを保ちます。
- 4 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
 PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
- 5 [PTT] ボタンを放して聞きます。緊急を通知した無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。ディスプレイに、グループ通話アイコン、送信中の無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

6 通話が終了したら、 を短く押してから、プログラムされた [緊急] ボタンを押して、緊急アラーム通話受信通知をクリアし、緊急モードを終了します。

7 無線機はホーム画面に戻ります。

緊急アラームの送信

この機能により、他の無線機の警告インジケーションを始動させる音声なしのシグナルである緊急アラームを送信できます。

手順：

- 1 プログラムされた [緊急] ボタンか緊急フットスイッチを押します。
- 2 ディスプレイに Sending Alarm とお使いの無線機 ID が交互に表示されます。LED が緑色に点灯し、ホーム画面ディスプレイに緊急アイコンが表示されます。
- 3 緊急アラーム承認を受信すると、緊急トーンが鳴り、LED が緑色で点滅します。ディスプレイに Emergency Alarm Successful と表示されます。
または
お使いの無線機が緊急アラーム承認を受信しないまますべての試行回数を終えると、トーンが鳴り、ディスプレイに Emergency Alarm Failed と表示されます。
- 4 無線機は緊急アラームモードを終了し、ホーム画面に戻ります。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。

通話及び緊急アラームの送信

この機能により、緊急アラームを別の無線機に送信できます。承認があり次第、両方の無線機がプログラムされた緊急チャンネル上でコミュニケーションを取れます。

手順：

- 1 プログラムされた [緊急] ボタンか緊急フットスイッチを押します。
- 2 ディスプレイに Sending Alarm とお使いの無線機 ID が交互に表示されます。LED が緑色に点灯し、ホーム画面ディスプレイに緊急アイコンが表示されます。
- 3 緊急アラーム承認を受信すると、緊急トーンが鳴り、LED が緑色で点滅します。ディスプレイに Emergency Alarm Successful と表示されます。
- 4 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。LED が緑色に点灯し、ディスプレイにグループアイコンが表示されます。
- 5 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
または
 PTT サイドトーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
- 6 [PTT] ボタンを放して聞きます。

7  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

または

プログラムされた [緊急] ボタンを長押しして、緊急モードを終了します。

8 無線機はホーム画面に戻ります。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。また、お客さまが [PTT] ボタンを押して通話を開始するまで、相手先無線機からの応答（通話）は一切受信しません。

お使いの無線機が音声つきサイレントに設定されている場合、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。また、相手の無線機から通話を受信している際も同様です。[PTT] ボタンを押して通話を開始または応答して初めて、インジケータが表示されます。

ハンズフリー緊急アラームの送信

この機能により、緊急アラームを別の無線機に送信できます。承認があり次第、無線機のマイクが自動的に起動され、[PTT] ボタンを押さなくても他の無線機と交信できるようになります。

このアクティブな状態のマイクを「ホットマイク」と呼びます。

プログラムされたホットマイク送信時間中に [PTT] ボタンを押しても、無線機は [PTT] が押されたことを無視し、緊急モードを維持します。

注：ホットマイク中に [PTT] ボタンを押し、ホットマイクの期限が切れた後も押し続けると、[PTT] ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

手順：

- 1 プログラムされた [緊急] ボタンか緊急フットスイッチを押します。
- 2 ディスプレイには Sending Alarm と表示されます。LED が緑色に点灯し、緊急アイコンが表示されます。

- 3 ディスプレイに Emergency Alarm Successful と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。ホットマイクが有効になると、ホットマイクが期限切れになるまで、[PTT] を押さなくても無線機が自動的に送信します。
- 4 送信中は LED が緑色に点灯し、ディスプレイに緊急アイコンが表示されます。
- 5 ホットマイクの期限が切れると、無線機は自動的に送信を停止します。再び送信するには、[PTT] ボタンを押します。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。また、プログラムされたホットマイク送信時間が終了し、[PTT] ボタンを押すまで、相手先無線機からの応答は一切受信しません。

お使いの無線機が音声つきサイレントに設定されている場合、ホットマイクで通話をしている際、あるいはプログラムされたホットマイク送信時間が終了した後で相手先無線機が応答した際には、緊急モード中には音声や視覚的インジケータは一切表示されません。[PTT] ボタンを押して初めて、インジケータが表示されます。

注：緊急アラームリクエストが失敗したら、無線機はホーム画面に戻ります。

📄 緊急モードの再開

この状況が起こるケースは二つあります：

- 無線機が緊急モードである間に、チャンネルを変更する場合があります。これにより、緊急モードが終了します。この新しいチャンネルで緊急アラームが有効になると、無線機は緊急を再開します。
- 緊急開始 / 送信状況中に、プログラムされた [緊急] ボタンを押した場合です。これにより、無線機がこの状態を終了し、緊急を再開します。

📄 緊急モードの終了

以下の**いずれか**が発生した場合、無線機は緊急モードを終了します：

- 緊急アラーム承認を受信した場合 (**緊急アラームの場合のみ**) または
- 警告を送信するすべての再試行が無駄に終わった場合、または
- プログラムされた [緊急] ボタンが長押しされた場合。

注：無線機の電源を切ると、緊急モードは終了します。無線機をオンにしても、緊急モードが自動的に再開することはありません。

■ テキストメッセージング機能

無線機は、他の無線機や電子メールアプリケーションからテキストメッセージなどのデータを受信できます。

クイックテキストメッセージの送信

無線機は、ディーラーがプログラムしたクイックテキストメッセージを、最大 10 個までサポートします。

注：クイックテキストは事前にプログラムされていますが、送信前に各メッセージを編集できます。キーパッドマイクでのみ利用できます (72 ページのクイックテキストメッセージの編集を参照)。

手順：

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Quick Text に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なクイックテキストに移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

6 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。

7 メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。

または

メッセージを送信できない場合、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

テキストメッセージの送信が失敗すると、Resend オプション画面に戻ります (44 ページの送信失敗テキストメッセージの管理を参照)。

ワンタッチアクセスボタンでクイックテキストメッセージを送信

1 プログラムされた [ワンタッチアクセス] ボタンを押し、事前に定義されたクイックテキストメッセージを事前に定義されたエイリアスまたは ID に送信します。

2 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。

3 メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。

または

メッセージを送信できない場合、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

テキストメッセージの送信が失敗すると、Resend オプション画面に戻ります (44 ページの送信失敗テキストメッセージの管理を参照)。

📁 下書きフォルダ内のテキストメッセージの管理

下書きフォルダは、最大で 10 件の最近保存されたメッセージを格納します。フォルダが一杯であるときにテキストメッセージを保存すると、フォルダの一番古いテキストメッセージが削除されます。詳しくは、73 ページの**下書きフォルダへのアクセス**を参照してください。

注：保存されたテキストメッセージを送信前に編集できます。キーパッドマイクでのみ利用できます (73 ページの**保存されたテキストメッセージの編集と送信**を参照)。

 ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

📁 保存したテキストメッセージの表示

手順：

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Drafts に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。

📁 下書きフォルダからの保存されたテキストメッセージの削除

手順：

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Drafts に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Delete に移動し、 を押してテキストメッセージを削除します。

📄 送信失敗テキストメッセージの管理

Resend オプション画面では、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- Resend
- Forward
- 編集 (キーパッドマイクでのみ利用できます – 詳細は 75 ページの **テキストメッセージの編集** を参照)。

注: チャンネルタイプ (一般デジタル、キャパシティプラスなど) が一致しない場合、送信失敗メッセージの編集と転送のみを行えます。

📄 テキストメッセージの再送信

手順:

- 1  を押して、同じ加入者 / グループのエイリアスまたは ID に同じメッセージを再送信します。
- 2 メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。
または
メッセージを送信できない場合、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

📄 テキストメッセージの転送

別の加入者 / グループのエイリアスまたは ID にメッセージを送信するには、

手順:

- 1  または  を押して Forward に移動し、 を押し て選択します。
- 2  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押し て選択します。
- 3 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。
- 4 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。
または
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

手動で相手先無線機アドレスを選択することもできます 74 ページの (**手動ダイヤルによるテキストメッセージの転送** を参照) 。

送信済みテキストメッセージの管理

別の無線機に送信されたメッセージは、送信済みアイテムに保存されます。最近送信されたテキストメッセージは、必ず送信済みアイテムリストの一番上に追加されます。

送信済みアイテムフォルダは、最大で 30 件までの最近送信されたメッセージを格納します。フォルダが一杯であるときにテキストメッセージを送信すると、フォルダの一番古いテキストメッセージが削除されます。

注：  ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

送信済みテキストメッセージの表示

手順：

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Sent Items に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。
メッセージが電子メールアプリケーションから送信された場合、件名が表示される場合があります。

- 5 画面の右上コーナーのアイコンは、メッセージのステータスを示します (10 ページの **送信済みアイテムアイコン** 参照)。

送信済みテキストメッセージの送信

送信済みテキストメッセージを表示中、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- Resend
- Forward
- Edit
- Delete

注：チャンネルタイプ (一般デジタル、キャパシティプラスなど) が一致しない場合、送信メッセージの編集、転送、または削除のみを行えます。

手順：

- 1  を再度押してメッセージを表示します。
- 2  または  を押して Resend に移動し、 を押して選択します。

- 3 ディスプレイには Sending to: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、同じメッセージが同じ送信先無線機に送信されることが表示されます。
- 4 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。
または
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

テキストメッセージの送信に失敗すると、無線機は Resend オプション画面に戻ります。Ⓚ を押して、同じ加入者 / グループのエイリアスまたは ID に同じメッセージを再送信します。

注：ボリュームを変更したり、Ⓚ、◀、▶ 以外のボタンを押すと、メッセージに戻ります。

[PTT] ボタンを押してプライベート通話やグループ通話を行ったり、グループ通話に応答すると、Resend オプション画面に戻ります。テキストやテレメトリーメッセージ、緊急通話や緊急アラーム、またはページングを受信しても、画面を終了します。

プライベート通話に応答する場合（無線機が不在通話画面を表示している場合を除く）や、一斉通話の最後で [PTT] ボタンを押すと、Resend オプション画面に戻ります。

◀ または ▶ ボタンを押して Forward、Edit、または Delete オプション画面に移動します。

- 相手先無線機に選択したテキストメッセージを送信するには、[Forward] を選択します（44 ページの**テキストメッセージの転送参照**）。キーパッドマイクを使用して、手動で相手先無線機アドレスを選択することもできます（74 ページの**手動ダイヤルによるテキストメッセージの転送を参照**）。
- 送信前に選択したメッセージを編集するには、Edit を選択します（75 ページの**テキストメッセージの編集を参照**）。キーパッドマイクでのみ使用できます。
- テキストメッセージを削除するには、Delete を選択します。

注：メッセージ送信中にメッセージ送信画面を終了すると、無線機は、ディスプレイや音声による通知を行わずに送信済みアイテムフォルダ内のメッセージのステータスを更新します。

送信済みアイテム内のメッセージのステータスが更新される前に、無線機のモードが変更されたり電源がオフになると、無線機は実行中のメッセージを完了できなくなり、そのメッセージは送信失敗アイコンで自動的にマークされます。

無線機は、同時に最大で 5 件の実行中メッセージをサポートします。この間、無線機は新しいメッセージを送信することができず、そのメッセージは送信失敗アイコンで自動的にマークされます。

送信済みアイテムからの全送信済みテキストメッセージの削除

手順:

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Sent Items に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Delete All に移動し、 を押して選択します。
- 5 Delete Message? が表示されたら、 を押して Yes を選択します。ディスプレイには Sent Items Cleared と表示されます。
または
Delete Message? が表示されたら、、または  を押して No に移動し、 ボタンを押して、前の画面に戻ります。

選択した送信済みアイテムにテキストメッセージが存在しない場合、ディスプレイに List Empty、と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります (66 ページのキーパッドトーンのオンとオフの切り替えを参照)。

テキストメッセージの受信

無線機がメッセージを受信すると、ディスプレイに送信者のエリアスまたは ID が表示され、画面の左端にはメッセージアイコンが表示されます。

テキストメッセージを受信すると、以下のいずれかのオプションを選択できます。

- Read
- Read Later
- Delete

注: テキストメッセージ警告画面が表示されているときに [PTT] ボタンを押すと、無線機は警告画面を終了して、プライベート通話、またはグループ通話を開始します。

テキストメッセージの表示

手順:

- 1  または  を押して Read に移動し、 を押して選択します。
- 2 受信トレイ内の選択したメッセージが開きます。メッセージが電子メールアプリケーションから送信された場合、件名行が表示される場合があります。

3  ボタンを押して受信ボックスに戻ります。

または

 を押して、テキストメッセージの返信、転送、または削除を行います。

 または  ボタンを押して、Read Later または Delete オプション画面にアクセスします。

- テキストメッセージを受信する前の画面に戻るには、Read Later を選択します。
- テキストメッセージを削除するには、Delete を選択します。

受信テキストメッセージの管理

受信トレイを使用してテキストメッセージを管理します。受信トレイは最大で 30 件のメッセージを格納できます。

無線機は、テキストメッセージ用の以下のオプションをサポートします。

- Reply (クイックテキスト)
- Forward
- Delete
- Delete All

注：チャンネルタイプ（一般デジタル、キャパシティプラスなど）が一致しない場合、受信メッセージの転送、削除、およびすべて削除のみを行えます。

受信トレイ内のテキストメッセージは、新しく受信した順番にソートされます。

注： ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

受信トレイのテキストメッセージの表示

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押しして選択します。
- 3  または  を押して Inbox に移動し、 を押しして選択します。
- 4  または  を押して、メッセージを表示します。メッセージが電子メールアプリケーションから送信された場合、件名行が表示される場合があります。
- 5  を押して現在のメッセージを選択し、 を再度押しして、このメッセージの返信、転送、または削除を行います。
または
ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。

未読メッセージは感嘆符記号 (!) でマークされます。

受信トレイのテレメトリーステータステキストメッセージの表示

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Inbox に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには Telemetry: <Status Text Message> と表示されます。
- 6 ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。

テレメトリーステータステキストメッセージに返信することはできません。

クイックテキストでのテキストメッセージへの返信

手順:

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Inbox に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。
メッセージが電子メールアプリケーションから送信された場合、件名行が表示される場合があります。
- 5 サブメニューにアクセスするには、 ボタンを再度押します。
- 6  または  を押して Reply に移動し、 を押して選択します。
- 7  または  を押して Quick Text に移動し、 を押して選択します。
- 8  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。

- 9 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。
- 10 メッセージが正常に送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。
または
メッセージを送信できない場合、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

テキストメッセージの送信が失敗すると、Resend オプション画面に戻ります (44 ページの送信失敗テキストメッセージの管理を参照)。

注: キーパッドマイクを使用している場合、新規メッセージを作成して送信することもできます (70 ページのテキストメッセージの作成と送信を参照)。また、送信前にクイックテキストメッセージを変更できます (72 ページのクイックテキストメッセージの編集を参照)。

☐ 受信トレイのテキストメッセージの削除

- 手順:
プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ3に進みます。
または
以下の手順に従います。
- 1  を押してメニューにアクセスします。
 - 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して Inbox に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。
メッセージが電子メールアプリケーションから送信された場合、件名行が表示される場合があります。
- 5 サブメニューにアクセスするには、 ボタンを再度押します。
- 6  または  を押して Delete に移動し、 を押して選択します。
- 7 Delete Message? が表示されたら、 または  を押して Yes を選択し、 を押して選択します。
- 8 ディスプレイには Message Deleted と表示されます。
- 9 画面は受信トレイに戻ります。

☐ 受信トレイの全テキストメッセージの削除

- 手順:
プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ3に進みます。
または
以下の手順に従います。
- 1  を押してメニューにアクセスします。
 - 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。

- 3 ◀ または ▶ を押して Inbox に移動し、OK を押して選択します。
- 4 ◀ または ▶ を押して Delete All に移動し、OK を押して選択します。
- 5 Delete Message? が表示されたら、◀ または ▶ を押して Yes を選択し、OK を押して選択します。
- 6 ディスプレイには Inbox Cleared と表示されます。

選択した受信トレイにテキストメッセージが存在しない場合、ディスプレイに List Empty と表示され、キーパッドトーンがオンであれば低いトーンが鳴ります (66 ページのキーパッドトーンのオンとオフの切り替えを参照)。

注: キーパッドマイクで追加のテキストメッセージ機能を利用できます。詳しくは、70 ページのテキストメッセージを参照してください。

Motorola 認定のマイクのリストについては、音声の 78 ページを参照するか、以下の Web サイトにアクセスしてください。
<http://www.motorola.com/governmentandenterprise>

■ プライバシー

この機能を有効にすると、ソフトウェアベースのスクランブル秘話通信により不正ユーザーによるチャンネルの盗聴を防止します。

秘話モード通信を行うにはには、お使いの無線機が同一チャンネルでプライバシーを有効にしている必要があります。ただし、送信を受信するには必ずしも必要ではありません。プライバシー有効チャンネル上で、無線機はクリアな (スクランブルされていない) 送信を引き続き受信できます。

お使いの無線機は、次の 2 種類のプライバシーをサポートしています:

- 基本プライバシー
- 拡張プライバシー

上記のプライバシータイプのいずれか 1 つのみを無線機に適用できます。

プライバシー有効通話のスクランブルを解除するには、お使いの無線機が、送信側無線機と同一のプライバシーキー (基本プライバシー)、または同一のキー値とキー ID (拡張プライバシー) を持つようにプログラムされている必要があります。

無線機が、異なるプライバシーキー、または異なるキー値とキー ID のスクランブル通話を受信した場合、音声を理解できないノイズになる (基本プライバシー) か、何も聞こえません (拡張プライバシー)。

無線機が送信している間は緑色の LED が点灯し、無線機が進行中のプライバシー有効通話を受信している際には急速に点滅します。

注：無線機モデルには、このプライバシー機能が搭載されていない場合があります。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順：

プログラムした [プライバシー] ボタンを押し、プライバシーのオンとオフを切り替えます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Privacy に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには Privacy と Turn On が表示されます。 を押してプライバシーを有効にします。ディスプレイにはセキュアアイコンと Privacy On が表示されます。
または
ディスプレイには Privacy と Turn Off が表示されます。 を押してプライバシーを無効にします。ディスプレイには非セキュアアイコンと Privacy Off が表示されます。

無線機にプライバシータイプが割り当てられている場合、無線機が緊急通話、または緊急アラームを送受信している場合を除き、ホーム画面にセキュアアイコン、または非セキュアアイコンが表示されます。

■ IP サイト接続

この機能を使用すると、無線機はインターネット プロトコル (IP) ネットワーク経由で別の利用可能サイトに接続して、単一サイトでは通信範囲外となる地域と通信することが可能になります。

注：この機能はキャパシティプラスでは利用不可です。

無線機があるサイトの通信範囲から別のサイトの通信範囲に移動すると、無線機は新しいサイトのベースステーションに接続して、通話やデータ送信を送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。その後、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いベースステーションにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミングリスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

注：各チャンネルは、スキャンまたはローミングのいずれか 1 つを有効にできますが、同時に両方を有効にすることはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミングリストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にメンバーリスト内のチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけてます。メンバーリストは、最大 16 チャンネルをサポートしま (選択されたチャンネルを含む)。

注：メンバーリストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

📖 自動サイト検索の開始

注：無線機は、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合にのみ、新規サイトをスキャンします。RSSI 値が強ければ、無線機は現在のサイトのままです。

手順：

プログラムされた [サイトロックオン/オフ] ボタンを押します。

- 1 トーンが鳴り、ディスプレイに Site Unlocked と表示されます。
- 2 無線機が新規サイトを検索している間は、黄色の LED が急速に点滅します。無線機がサイトにロックオンすると LED は消灯します。
- 3 ディスプレイに、サイトローミングアイコンとチャンネルのエイリアスが表示されます。

または

手順：

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Site Roaming に移動し、 を押して選択します。

- 5  または  を押して Unlock Site に移動し、 を押して選択します。トーンが鳴り、ディスプレイに Site Unlocked と表示されます。

- 6 無線機はホーム画面に戻ります。ディスプレイに、サイトローミングアイコンとチャンネルのエイリアスが表示されます。

- 7 無線機が新規サイトを検索している間は、黄色の LED が急速に点滅します。無線機がサイトにロックオンすると LED は消灯します。

現在のチャンネル（ローミングリスト付きの IP 選択チャンネル）が通信範囲外であれば、[PTT] ボタンが押されている間やデータの送信中は、無線機は自動サイト検索も実行します（サイトはロック解除）。

📖 自動サイト検索の停止

無線機が新しいサイトを検索している間に次の手順を実行します。

手順：

プログラムされた [サイトロックオン/オフ] ボタンを押します。

- 1 トーンが鳴り、ディスプレイに Site Locked と表示されます。
- 2 LED が消灯し、ディスプレイにチャンネルのエイリアスが表示されます。

または

手順:

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Site Roaming に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Lock Site に移動し、 を押して選択します。トーンが鳴り、ディスプレイに Site Locked と表示されます。
- 6 LED は消灯し、無線機はホーム画面に戻ります。ディスプレイにはチャンネルのエリアスが表示されます。

手動サイト検索の開始

手順:

プログラムされた [手動サイトローミング] ボタンを押して、ステップ 6 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Site Roaming に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Active Search に移動し、 を押して選択します。
- 6 トーンが鳴り、ディスプレイに Finding Site と表示されます。緑色の LED が点滅します。
- 7 新しいサイトが見つかったと、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには Site <Alias> Found と表示されます。
または
通信範囲内にサイトが見つからないと、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには Out of Range と表示されます。
または
通信範囲内にサイトが存在するものの無線機が接続できない場合、トーンが鳴り、LED が消灯します。ディスプレイには Channel Busy と表示されます。
- 8 無線機はホーム画面に戻ります。

■ セキュリティ

システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。例えば、盗難にあった無線機を無効にして使用できないようにし、無線機を回収したら有効にすることができます。

注：無線機の有効、無効の切り替えは、これらの機能が有効である無線機に限られます。

無線機無効

手順：

プログラムされた [無線機無効] ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた [無線機無効] ボタンを押します。

- 2  または  を押して必要な加入者のエリアまたは ID に移動し、 を押して選択します。

- 3 ディスプレイに Radio Disable: <Subscriber Alias or ID> と表示され、LED が緑色に点灯します。

- 4 承認を待ちます。

- 5 成功すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Disable Successful と表示されます。
または
失敗すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Disable Failed と表示されます。

または

手順：

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

- 3  または  を押して必要な加入者のエリアまたは ID に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して Radio Disable に移動し、 を押して選択します。緑色の LED が点滅します。

- 5 ディスプレイに Radio Disable: <Subscriber Alias or ID> と表示され、LED が緑色に点灯します。

- 6 承認を待ちます。

- 7 成功すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Disable Successful と表示されます。
または
失敗すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Disable Failed と表示されます。

無線機無効操作中に  キーを押さないでください。承認メッセージを受信しなくなります。

手動ダイヤルでこの機能にアクセスすることもできます (76 ページの手動ダイヤルによる無線の無効化を参照)。

無線機有効

手順:

プログラムされた [無線機有効] ボタンを使用します。

- 1 プログラムされた [無線機有効] ボタンを押します。
- 2  または  を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 3 ディスプレイに Radio Enable: <Subscriber Alias or ID> と表示され、LED が緑色に点灯します。
- 4 承認を待ちます。
- 5 成功すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Enable Successful と表示されます。
または
失敗すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Enable Failed と表示されます。

または

手順:

メニューを使用します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。

3  または  を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

4  または  を押して Radio Enable に移動し、 を押して選択します。緑色の LED が点滅します。

5 ディスプレイに Radio Enable: <Subscriber Alias or ID> と表示され、LED が緑色に点灯します。

6 承認を待ちます。

7 成功すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Enable Successful と表示されます。

または

失敗すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Enable Failed と表示されます。

無線機有効操作中に  キーを押さないでください。承認メッセージを受信しなくなります。

手動ダイヤルでこの機能にアクセスすることもできます 76 ページの (手動ダイヤルによる無線の有効化を参照)。

■ ローンワーカー

この機能は、事前定義された期間に、無線機のボタンの押下やチャンネルセレクターの使用などのユーザー操作がない場合に、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がないと、無操作タイマー終了後に、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前定義された通知タイマーが終了してもユーザーによる応答操作がない場合、無線機は緊急アラームを発します。

この機能には、緊急アラームのいずれか 1 つのみを割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話及び緊急アラーム
- ハンズフリー緊急アラーム 

無線機は、操作が行われるまで緊急状態のままとなります。この間も音声メッセージは送信できます。緊急状態の終了方法については、37 ページページの**緊急アラーム**を参照してください。

注：この機能は、この機能が有効である無線機に限られます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

■ ユーティリティ

スケルチレベルの設定

低いシグナルの不要な通話や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャンネルを取り除くために、無線機のスケルチレベルを調整できます。

設定：Normal がデフォルトです。Tight にすると、(不要な)通話や背景雑音を取り除きます。ただし、遠隔地からの通話もまた取り除かれる可能性があります。

手順：

プログラムされた [スケルチ] ボタンを押して、スケルチレベルを通常スケルチと深いスケルチ間で切り替えます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Squelch に移動し、 を押して選択します。
- 5 Tight または Normal のいずれかを選択して、 を押して選択します。
- 6 画面は前のメニューに戻ります。

📄 パワーレベルの設定

各チャンネルの無線機のパワー設定の高低をカスタマイズできます。

設定： High に設定すると、かなり離れた場所にある無線機とも交信できるようになります。Low に設定すると、近い場所にある無線機と交信できます。

手順：

プログラムされた [パワーレベル] ボタンを押して、送信出力レベルを高と低の間で切り替えます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Power に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイでの指示に従って現在の設定を変更します。
- 6  を押して、新しいパワーレベルを選択します。
- 7 画面は前のメニューに戻ります。

ホーム画面に戻るには、 ボタンを長く押します。パワーレベルアイコンが表示されます。

📄 オプションボード機能のオンとオフの切り替え

一つのチャンネルは、最大 6 のオプションボード機能をサポートします。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順：

事前にプログラムした [オプションボード機能] ボタンを押し、機能のオンとオフを切り替えます。

📄 音声起動送信 (VOX) 機能のオンとオフの切り替え

この機能により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声通話を開始できます。VOX 対応アクセサリのマイクが音声を検出すると、プログラムされた期間中、無線機は自動的に送信します。

注： VOX 対応マイクを取り外した後に、別の有効なアクセサリに切り替えるには、無線機の電源を切ってもう一度電源を入れる必要があります。

無線機の動作中に [PTT] ボタンを押すと、VOX は無効になります。VOX を再度有効にするには、以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 電源を切り、もう一度電源を入れます。**または**
- チャンネル選択ボタン経由でチャンネルを変更します。**または**
- 以下の手順に従います。

注：この機能のオン、オフの切り替えは、この機能が有効である無線機に限られます。詳しくは、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

手順：

プログラムされた [VOX] ボタンを押して、この機能のオン、オフを切り替えます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して VOX に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには VOX On と表示されます。 を押して VOX を無効にします。トーンが鳴り、ディスプレイに VOX Off と表示されます。
または
ディスプレイには VOX Off と表示されます。 を押して VOX を有効にします。トーンが鳴り、ディスプレイに VOX On と表示されます。

通話許可トーン機能が有効であれば (62 ページの **通話許可トーンのオンとオフの切り替え** を参照)、トリガーワードを発声して通話を開始します。通話許可トーンが終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。

□ パブリックアドレスシステムのオンとオフの切り替え

無線機の内部パブリックアドレス (PA) システムの有効、無効を切り替えられます。

手順：

プログラムされた [PA オン/オフ] ボタンを押し、機能のオンとオフを切り替えます。

□ 外部 PA システムのオンとオフの切り替え

接続されたパブリックアドレス (PA) ラウドスピーカーアンプと無線機内部パブリックアドレス (PA) システムの間の音声ルーティングの有効、無効を切り替えられます。

手順：

プログラムされた [Ext PA オン/オフ] ボタンを押し、機能のオンとオフを切り替えます。

ディスプレイバックライトの制御

無線機に付属するディスプレイのバックライトの明るさを、Low、Medium、High、または Off に設定して、ディスプレイとメニューナビゲーションボタンの照明を調節できます。この設定は、キーパッドマイクのバックライトにも影響します。

手順:

プログラムした [バックライト] ボタンを押し、バックライトの明るさを設定します。押すたびにディスプレイのバックライト設定が新しい設定に変化します。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Backlight に移動し、 を押して選択します。
- 5 現在の設定は ✓ で示されます。
- 6  または  を押して必要な設定に移動し、 を押して選択します。
- 7 設定内容に従いディスプレイが点灯し、前の画面に戻ります。

LED インジケータが無効の場合、ディスプレイバックライト、ボタン、キーパッドバックライトは自動的にオフになります (62 ページの LED インジケータのオンとオフの切り替えを参照)。

クラクション/ライトのオンとオフの切り替え

お使いの無線機は、クラクションやライト機能で着信を通知できます。有効にすると、着信時に車のクラクションが鳴り、ライトがつきます。

この機能は、ディーラーが無線機のリアアクセサリコネクタに取り付ける必要があります。

手順:

プログラムされた [ホーン/ライト] ボタンを押し、ホーンとライト機能のオンとオフを切り替えます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Horns/Lights に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには Turn On と表示されます。 を押してホーンとライト機能をオンにします。ディスプレイには Horns and Lights On が表示されます。
または
ディスプレイには Turn Off と表示されます。 を押して、ホーンとライト機能をオフにします。ディスプレイには Horns and Lights Off が表示されます。

無線機トーン/警告のオンとオフの切り替え

必要に応じ、すべての無線機トーンや警告（着信緊急アラームトーンは除く）を有効にすることも無効にすることもできます。

手順：

プログラムした [すべてのトーン/警告] ボタンを押し、すべてのトーンのオンとオフを切り替えます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して Tones/Alerts に移動し、 を押して選択します。

- 5  または  を押して All Tones に移動し、 を押して選択します。

- 6 ディスプレイには Turn On と表示されます。 を押してすべてのトーンと警告を有効にします。ディスプレイには All Tones On と表示されます。
または
ディスプレイには Turn Off と表示されます。 を押してすべてのトーンと警告を無効にします。ディスプレイには All Tones Off と表示されます。

トーン警告ボリュームオフセットレベルの設定

必要に応じて、トーン警告ボリュームオフセットレベルを調節できます。この機能は、音声ボリュームを基準としてトーン / 警告のボリュームを調節できます。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して Tones/Alerts に移動し、 を押して選択します。

- 5  または  を押して Vol. Offset に移動し、 を押して選択します。

- 6  または  を押して必要なボリュームレベルにします。無線機は、それぞれの対応するボリューム値のフィードバックトーンを発します。

- 7  を押して、必要となる表示されているボリューム値を保存します。ディスプレイには Volume Offset Selected と表示されます。
または
ステップ 6 を繰り返して、その他のボリューム値を選択します。
または
 を押して、現在のボリュームオフセット設定を変更せずに終了します。

☐ 通話許可トーンのオンとオフの切り替え

必要に応じて、通話許可トーンの有効、無効を切り替えられます。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Tones/Alerts に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Talk Permit に移動し、 を押して選択します。
- 6 Turn On を選択します。 を押して通話許可トーンをオンにします。ディスプレイには Talk Permit Tone On と表示されます。
または
Turn Off を選択します。 を押して通話許可トーンをオフにします。ディスプレイには Talk Permit Tone Off と表示されます。

☐ LED インジケータのオンとオフの切り替え

必要に応じて、LED インジケータのオン、オフを切り替えられます。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して LED Indicator に移動し、 を押して選択します。
- 5 Turn On を選択します。 を押して LED インジケータをオンにします。ディスプレイには All LEDs On と表示されます。
または
Turn Off を選択します。 を押して LED インジケータをオフにします。ディスプレイには All LEDs Off と表示されます。

LED インジケータが無効の場合、ディスプレイバックライト、ボタン、キーパッドバックライトは自動的にオフになります (60 ページのディスプレイバックライトの制御を参照)。

📄 導入画面のオンとオフの切り替え

必要に応じて、導入画面の有効、無効を切り替えられます。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Intro Screen に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには Turn On と表示されます。 を押して導入画面をオンにします。ディスプレイには Intro Screen On と表示されます。
または
ディスプレイには Turn Off と表示されます。 を押して導入画面をオフにします。ディスプレイには Intro Screen Off と表示されます。

📄 一般無線機情報へのアクセス

お使いの無線機に関する情報には、以下の情報があります。

- 無線機 ID 
- ソフトウェアバージョン
- コードプラグバージョン

注：  を押すといつでも前の画面に戻ります。  を長く押すとホーム画面に戻ります。

📄 無線機 ID の確認

無線機の ID を表示します。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Info に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して My Number に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには無線機の ID が表示されます。

📄 ファームウェアバージョンの確認

無線機のファームウェアバージョンを表示します。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Info に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Firmware Ver. に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには、現在のファームウェアバージョンが表示されます。

📄 コードプラグバージョンの確認

無線機のコードプラグバージョンを表示します。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Info に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して CP Ver. に移動し、 を押して選択します。
- 5 ディスプレイには、現在のコードプラグバージョンが表示されます。

■ キーパッドマイク機能

キーパッド対応マイクで、以下の無線機追加機能が利用できます。

キーパッドの使用	65 ページ
追加の高度機能	66 ページ
テキストメッセージ	70 ページ
デュアルトーンマルチ周波数 (DTMF)	75 ページ
セキュリティ	76 ページ

■ キーパッドの使用

キーパッドマイク (Motorola 部品番号 : RMN5065_) にある 3 x 4 の英数字キーパッドを使用して、無線機の機能にアクセスできません。キーパッドを使用して、加入者のエイリアスまたは ID、テキストメッセージを入力できます。1つのキーを複数回押さないと入力できない文字もあります。以下の表は、必要な文字を入力するのに1つのキーを押す回数を示します。

キー	キーを押す回数												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1,?	1	.	,	?	!	@	&	'	%	-	:	*	#
2 abc	A	B	C	2									
3 def	D	E	F	3									
4 ghi	G	H	I	4									
5 jkl	J	K	L	5									
6 mno	M	N	O	6									
7pqrs	P	Q	R	S	7								
8tuv	T	U	V	8									
9xyz	W	X	Y	Z	9								
0+	0	注：押すと“0”が入力されます。長く押すと CAPS lock がオンになります。再度長く押すと、CAPS lock がオフになります。											
*del	* または 削除	注：テキストの入力中に押すと、文字が削除されます。数字の入力中に押すと、“*”が入力されます。											
#	# または スペース	注：テキストの入力中に押すと、スペースが挿入されます。数字の入力中に押すと、“#”が入力されます。											

📄 キーパッドトーンのオンとオフの切り替え

必要に応じて、キーパッドトーンの有効、無効を切り替えられます。

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Utilities に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Radio Settings に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して Tones/Alerts に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Keypad Tones に移動し、 を押して選択します。
- 6 ディスプレイには Turn On と表示されます。 を押してキーパッドトーンを有効にします。ディスプレイには Keypad Tone On と表示されます。
または
ディスプレイには Turn Off と表示されます。 を押してキーパッドトーンを無効にします。ディスプレイには Keypad Tone Off と表示されます。

■ 追加の高度機能

📄 手動ダイヤルによる無線機確認の開始

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。
- 4 以前にダイヤルした加入者 ID が存在する場合、その ID と点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して ID を編集します。 を押して選択します。
または
キーパッドを使用して、新しい加入者の ID を入力します。 を押して選択します。
- 5  または  を押して Radio Check に移動し、 を押して選択します。
- 6 ディスプレイには Radio Check: <Subscriber ID> と表示され、無線機確認が実行中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- 承認を待ちます。
- 相手先無線機がシステム内でアクティブであれば、トーンが鳴り、ディスプレイに Target Radio Available と短く表示されます。
または
相手先無線機がシステム内でアクティブでない場合、トーンが鳴り、ディスプレイに Target Radio Not Available と短く表示されます。
- 加入者の ID の画面に戻ります。

無線機が承認待ちのときに  ボタンを押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機確認モードを終了します。

手動ダイヤルによるリモートモニターの開始

手順：

-  を押してメニューにアクセスします。
-  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。
-  または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。

- 以前にダイヤルした加入者 ID が存在する場合、その ID と点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用して加入者 ID を編集します。 を押して選択します。
または
キーパッドを使用して、新しい加入者の ID を入力します。
 を押して選択します。
-  または  を押して Radio Mon. に移動し、 を押して選択します。
- 承認を待ちます。
- ディスプレイに Remote Monitor Successful と表示されます。
または
ディスプレイに Remote Monitor Failed と表示されます。
- 成功時：
タイマーが終了すると、無線機から警告トーンが鳴り、緑色の LED が消灯します。ディスプレイに Remote Monitor Ended と表示されます。
または
失敗時：
無線機は、プログラムされた試行回数が終わるまで試行を続けます。

📄 手動ダイヤルによるプライベート通話発信 📞

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3  または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。
- 4 以前にダイヤルした加入者 ID が存在する場合、その ID と点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用して加入者 ID を編集します。
または
キーパッドを使用して、新しい加入者の ID を入力します。
- 5 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。1 行目に、相手先無線機の ID が表示されます。2 行目には、Private Call とプライベート通話アイコンが表示されます。
- 6 通話許可トーン (有効になっている場合) が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
- 7 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。

- 8 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。
または
プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 9 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには Call Ended と表示されます。

📄 エイリアス検索によるプライベート通話発信 📞

エイリアスや英数字検索を使用して、必要な加入者エイリアスを取得することもできます。

この機能は、連絡先でのみ利用できます。

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3 エイリアスの最初の文字を入力します。

- 4  または  を押して必要なエイリアスに移動します。
- 5 [PTT] ボタンを押して、通話を発信します。緑色の LED が点灯します。1 行目に、相手先無線機の ID が表示されます。2 行目には、Private Call とプライベート通話アイコンが表示されます。
- 6 通話許可トーン（有効になっている場合）が終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。
- 7 [PTT] ボタンを放して聞きます。相手先の無線機が応答すると、緑色の LED が点滅します。
- 8 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、相手先無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。[PTT] ボタンを押して応答します。
または
プログラムされた時間中、音声アクティビティがない場合、通話が終了します。
- 9 短いトーンが聞こえます。ディスプレイには Call Ended と表示されます。

不在通話リストのエイリアスまたは ID の格納

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Call Log に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Missed に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要な不在通話のエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
- 5  または  を押して Store に移動し、 を押して選択します。
- 6 点滅するカーソルが表示されます。必要に応じて、当該 ID のエイリアスを入力し、 を押します。
- 7 ディスプレイには Contact Saved と表示されます。

エイリアスなしで ID を格納することもできます。

📄 手動ダイヤルによる緊急通話発信 📞

手順:

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。
- 4 点滅するカーソルが表示されます。ページングの送り先加入者の ID を入力し、 を押します。
- 5  または  を押して Call Alert に移動し、 を押して選択します。
- 6 ディスプレイには Call Alert: <Subscriber Alias or ID> と表示され、ページングが送信されたことが示されます。
- 7 無線機がページングを送信している間は緑色の LED が点灯します。
- 8 ページング承認を受信すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Call Alert Successful と表示されます。
または
ページング承認を受信しない場合、トーンが鳴り、ディスプレイに Call Alert Failed と表示されます。

■ テキストメッセージ 📞

件名の行 (電子メールアプリケーションからのメッセージを受信すると表示される) を含むテキストメッセージの最大長は、**138** 文字です。

無線機は、一定時間操作がないと現在の画面を終了します。作成 / 編集画面のあらゆるテキストメッセージは、下書きフォルダに自動的に保存されます。

注:  ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

📄 テキストメッセージの作成と送信

手順:

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して Write に移動し、 を押して選択します。

- 4 キーパッドを使用してメッセージを入力します。スペース 1 個分左に移動するには、 を押します。スペース 1 個分右に移動するには、 または # キーを押します。不要な文字を削除するには * キーを押します。

- 5 メッセージが完成したら、 を押します。

- 6  または  を押して Send に移動し、 を押してメッセージを送信します。
または
 または  を押して Save に移動し、 を押して、下書きフォルダにメッセージを保存します。
または
 を押してメニューにアクセスします。
 を再度押して、メッセージを削除するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

- 7  または  を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
または
 または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。
加入者のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

- 8 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。

9 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。

または
メッセージが送信されない場合、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

テキストメッセージの送信が失敗すると、Resend オプション画面に戻ります (44 ページおよび 74 ページの送信失敗テキストメッセージの管理参照)。

受信トレイのテキストメッセージへの返信

手順:

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して Inbox に移動し、 を押して選択します。

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動し、 を押して選択します。
メッセージが電子メールアプリケーションから送信された場合、件名行が表示される場合があります。

- 5 追加オプションにアクセスするには、 ボタンを再度押します。
- 6  または  を押して Reply に移動し、 を押して選択します。
- 7  または  を押して Write に移動し、 を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用してメッセージを入力します。スペース 1 個分左に移動するには、 を押します。スペース 1 個分右に移動するには、 または # キーを押します。
不要な文字を削除するには * キーを押します。
- 8 メッセージが完成したら、 を押します。
- 9 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。
- 10 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。
または
メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

テキストメッセージの送信が失敗すると、Resend オプション画面に戻ります (44 ページおよび 74 ページの**送信失敗テキストメッセージの管理**参照)。

注：件名行が存在する場合 (電子メールアプリケーションから送信されたメッセージの場合)、この行は編集できません。

クイックテキストメッセージの編集

手順：

プログラムされた [テキストメッセージ] ボタンを押して、ステップ 3 に進みます。

または

以下の手順に従います。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Messages に移動し、 を押して選択します。
- 3  または  を押して Quick Text に移動し、 を押して選択します。
- 4  または  を押して必要なクイックテキストに移動し、 を押して選択します。
- 5 点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用してメッセージを編集します。スペース 1 個分左に移動するには、 を押します。スペース 1 個分右に移動するには、 または # キーを押します。
不要な文字を削除するには * キーを押します。
- 6 メッセージが完成したら、 を押します。

- 7 または を押して Send に移動し、 を押してメッセージを送信します。

または

- または を押して Save に移動し、 を押して、下書きフォルダにメッセージを保存します。

または

- を押してメニューにアクセスします。

- を再度押して、メッセージを削除するか、下書きフォルダにこのメッセージを保存します。

- 8 または を押して必要な加入者のエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

または

- または を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。

- 加入者のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

- 9 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。

- 10 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。

または

- メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

テキストメッセージの送信が失敗すると、Resend オプション画面に戻ります (44 ページおよび 74 ページの送信失敗テキストメッセージの管理参照)。

下書きフォルダへのアクセス

下書きフォルダにテキストメッセージを保存し、後でそのテキストメッセージを送信できます。

[PTT] ボタンを押したり、モードの変更により、テキストメッセージの作成や編集中にテキストメッセージの作成 / 編集画面から抜けてしまった場合、現在のテキストメッセージは、下書きフォルダに自動的に保存されます。

最近保存されたテキストメッセージは、必ず下書きリストの一番上に追加されます。詳しくは、43 ページの下書きフォルダ内のテキストメッセージの管理を参照してください。

注: ボタンを長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

保存されたテキストメッセージの編集と送信

手順:

- 1 を再度押してメッセージを表示します。
- 2 または を押して Edit に移動し、 を押して選択します。
点滅するカーソルが表示されます。
キーパッドを使用してメッセージを編集します。スペース 1 個分左に移動するには、 を押します。スペース 1 個分右に移動するには、 または # キーを押します。
不要な文字を削除するには *DEL キーを押します。
メッセージが完成したら、 を押します。
または
 または を押して Send に移動し、 を押して選択します。

- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。

または

 または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。

加入者のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

- 4 ディスプレイには Sending to: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。

- 5 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。

または

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

テキストメッセージの送信に失敗すると、そのテキストメッセージは送信済みアイテムフォルダに移動し、送信失敗アイコンでマークされます。

送信失敗テキストメッセージの管理

メッセージの送信に失敗すると、無線機は Resend オプション画面に戻ります。

手動ダイヤルによるテキストメッセージの転送

別の加入者/グループのエイリアスまたは ID にメッセージを送信するには、Forward を選択します。

手順：

- 1  または  を押して Forward に移動し、 を押して選択します。

- 2  または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。
加入者のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。

- 3 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。

- 4 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。

または

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

📄 テキストメッセージの編集

送信前にメッセージを編集するには Edit を選択します。

注：件名行が存在する場合（電子メールアプリケーションから送信されたメッセージの場合）、この行は編集できません。

手順：

- 1  または  を押して Edit に移動し、 を押して選択します。
- 2 メッセージの横に点滅するカーソルが表示されます。キーパッドを使用してメッセージを編集します。スペース 1 個分左に移動するには、 を押します。スペース 1 個分右に移動するには、 または # キーを押します。不要な文字を削除するには *DEL キーを押します。
- 3 メッセージが完成したら、 を押します。
- 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動し、 を押して選択します。
または
 または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。
加入者のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。
- 5 ディスプレイには Text Message: <Subscriber/Group Alias or ID> と表示され、メッセージが送信されることが表示されます。

- 6 メッセージが送信されると、トーンが鳴り、ディスプレイに Message Sent と表示されます。

または

メッセージが送信されない場合、低いトーンが鳴り、ディスプレイに Message Send Failed と表示されます。

■ デュアルトーンマルチ周波数 (DTMF)

デュアルトーンマルチ周波数 (DTMF) 機能を使用することで、無線機は無線機システム内で電話機システムを操作できます。

手順：

DTMF 通話を行うには、以下の手順を実行します。

- 1 [PTT] ボタンを押し下げます。
- 2 必要な番号を入力します。

すべての無線機トーンと警告を無効にすることで、DTMF トーンをオフにできます（61 ページの無線機トーン / 警告のオンとオフの切り替えを参照）。

■ セキュリティ

手動ダイヤルによる無線の無効化

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3  または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。
加入者のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。
- 4  または  を押して Radio Disable に移動し、 を押して選択します。緑色の LED が点滅します。
- 5 ディスプレイに Radio Disable: <Subscriber Alias or ID> と表示され、LED が緑色に点灯します。
- 6 承認を待ちます。
- 7 成功すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Disable Successful と表示されます。
または
失敗すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Disable Failed と表示されます。

無線機無効操作中に  を押さないでください。承認メッセージを受信しなくなります。

手動ダイヤルによる無線の有効化

手順：

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して Contacts に移動し、 を押して選択します。エントリはアルファベット順にソートされます。
- 3  または  を押して Manual Dial に移動し、 を押して選択します。
加入者のエイリアスまたは ID を入力し、 を押します。
- 4  または  を押して Radio Enable に移動し、 を押して選択します。緑色の LED が点滅します。
- 5 ディスプレイに Radio Enable: <Subscriber Alias or ID> と表示され、LED が緑色に点灯します。
- 6 承認を待ちます。
- 7 成功すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Enable Successful と表示されます。
または
失敗すると、トーンが鳴り、ディスプレイに Radio Enable Failed と表示されます。

無線機有効操作中に  を押さないでください。承認メッセージを受信しなくなります。

アクセサリ

お使いの無線機は、本章に記載されているアクセサリと互換性があります。詳しくはディーラーにお問い合わせください。

アンテナ	77 ページ
音声	78 ページ
ケーブル	78 ページ
デスクトップアクセサリ	79 ページ
マウンティングキット	79 ページ
リモートマウントアダプター	79 ページ
スピーカ	80 ページ
その他アクセサリ	80 ページ

■ アンテナ

- VHF、136 – 144 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAD4198_)
- VHF、146 – 150.8 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAD4199_)
- VHF、150.8 – 162 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAD4200_)
- VHF、162 – 174 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAD4201_)

- UHF、403 – 527 MHz、2.0 dB Gain、スルーホールマウント、BNC (HAE6021_)
- UHF、403 – 430 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAE4151_)
- UHF、450 – 470 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAE4152_)
- UHF、450 – 470 MHz、5.0 dB Gain、スルーホールマウント、BNC (RAE4154_)
- UHF、406 – 420 MHz、3.5 dB Gain、スルーホールマウント、BNC (RAE4158_)

XiR M8228 GPS モデルのみ

- コンビネーション GPS/VHF、136 – 144 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAD4219_)
- コンビネーション GPS/VHF、146 – 150.8 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAD4220_)
- コンビネーション GPS/VHF、150.8 – 162 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAD4221_)
- コンビネーション GPS/VHF、162 – 174 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RAD4222_)
- コンビネーション GPS/UHF、403 – 527 MHz、2.0 dB Gain、スルーホールマウント、BNC (HAE6017_)

- コンビネーション GPS/UHF、470 – 527 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (HAE6018_)
- コンビネーション GPS/UHF、494 – 512 MHz、3.0 dB Gain、スルーホールマウント、BNC (HAE6023_)
- コンビネーション GPS/UHF、470 – 594 MHz、3.0 dB Gain、スルーホールマウント、BNC (HAE6025_)
- コンビネーション GPS/UHF、403 – 430 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RMAE4035_)
- コンビネーション GPS/UHF、406 – 420 MHz、3.5 dB Gain、スルーホールマウント、BNC (PMAE4036_)
- コンビネーション GPS/UHF、450 – 470 MHz、1/4 Wave、スルーホールマウント、BNC (RMAE4037_)
- コンビネーション GPS/UHF、450 – 470 MHz、5.0 dB Gain、スルーホールマウント、BNC (RMAE4038_)
- 固定マウント GPS アクティブアンテナ (PMAN4000_)
- ウィンドウマウント GPS アクティブアンテナ (PMAN4001_)
- マグネティックマウント GPS アクティブアンテナ (PMAN4002_)

■ 音声

- テレフォンスタイルハンドセット (HMN4098_)
- デスクトップマイク (RMN5050_)
- コンパクトマイク (RMN5052_)
- 高度音声付きヘビーデューティマイク (RMN5053_)
- 高度音声付きバイザーマイク (RMN5054_)
- 高音質キーパッドマイク (RMN5065_)

■ ケーブル

- バッテリーへの電力ケーブル、10 フィート (3 メートル) ケーブル、3 アンプ (1 – 25 ワット) (HKN4137_)
- バッテリーへの電力ケーブル、10 フィート (3 メートル) ケーブル、3 アンプ (1 – 45 ワット) (HKN4191_)
- バッテリーへの電力ケーブル、20 フィート (6 メートル) ケーブル、6 アンプ (1 – 45 ワット) (HKN4192_)
- モバイルおよびリピーター リアアクセサリ コネクタ ユニバーサルケーブル (PMKN4018_)
- イグニションセンス ケーブル (RKN4136_)

■ デスクトップアクセサリ

- GPN6145 用の無線機電力ケーブル (GKN6266_)
- スピーカなしのデスクトップトレイ (GLN7318_)
- スピーカ付きのデスクトップトレイ (RSN4005_)
- スイッチモード電源 (1 - 25 ワットモデル) (CE マーク) (GPN6145_)
- 電源 14V DC 10A UNI 117/240 VAC (25 - 60 ワットモデル) (HPN4007_)
- 電源 14V DC 15A UNI 117/240 VAC (1 - 25 ワットモデル) (HPN4008_)
- US ラインコード (NTN7373_)
- Euro ラインコード (NTN7374_)
- UK ラインコード (NTN7375_)
- リアアクセサリ コネクタ用のハードウェアキット (PMLN5072_)

■ マウンティングキット

- インダッシュ (DIN) マウンティングキット (RLN5933_)
- ロープロファイルトラニオンキット (RLN6077_)
- ハイプロファイルトラニオンキット (RLN6078_)
- キーロックトラニオンキット (RLN6079_)

■ リモートマウントアダプター

- モバイルリモートマウント 5 メートル ケーブルキット (PMKN4073_)
- モバイルリモートマウント 3 メートル ケーブルキット (PMKN4074_)
- モバイルリモートマウント アダプターキット (PMLN5404_)

■ スピーカ

- 13- ワット外部スピーカ (RSN4002_)
- 7.5- ワット外部スピーカ (RSN4003_)
- 5- ワット外部スピーカ (RSN4004_)

■ その他アクセサリ

- マイクどめクリップ (すべてのマイク) (HLN9073_)
- ユニバーサルマイクどめクリップ (すべてのマイク) (HLN9414_)
- 数字ディスプレイモバイルボタンキット (スキャン、緊急、ダイレクトモード、および L/H ボタン付き) (PMLN5067_)
- プッシュボタン **PTT** (RLN5926_)
- 緊急フットスイッチ (RLN5929_)
- コンパクトマイク交換ケーブル (RLN6276_)
- ヘビーデューティ/キーパッドマイク交換ケーブル (RLN6277_)



MOTOROLA

モトローラ株式会社
〒141-6021
東京都品川区大崎2-1-1

MOTOROLAとStylized Mロゴは、
米国特許商標局に登録されています。
その他すべての商品名およびサービス名は、
個々の商標権者に帰属します。
© 2009 by Motorola, Inc.
All rights reserved.
2009年11月

www.motorola.com/mototrbo



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
- 関西支店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
- 札幌営業所 名古屋営業所
- 仙台営業所 九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/> 営業所住所はこちら▶



6871429M01-B